



平成26年度 全国中学校体育大会

第44回 全国中学校

バドミントン大会

大会報告書

若人よ 蒼き四国で
熱くなれ!

平成26年 **8月19日(火)～22日(金)**

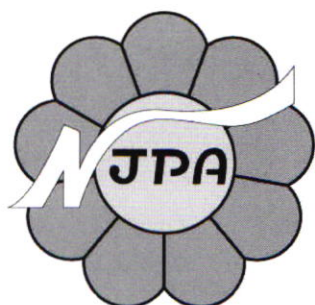
会場 開会式：西条市総合文化会館
西条市神拝甲79番地4 TEL.0897-53-5500

競技：西条市総合体育館
西条市ひうち1番地2 TEL.0897-53-3006

主催 (公財)日本中学校体育連盟 (公財)日本バドミントン協会
愛媛県教育委員会 西条市教育委員会

主管：四国中学校体育連盟・愛媛県中学校体育連盟
愛媛県バドミントン協会・西条市中学校体育連盟
西条市バドミントン協会

公益財団法人日本中体連シンボルマーク



「明るく希望にもえ躍動する姿」をイメージし、全国都道府県中体連と9つのブロック中体連を表し、Nippon Junior High School Physical Culture Association の頭文字を中心に図案化した。

中心の円の赤は、情熱・希望を表し、円を縁どる九輪を青（コバルトブルー）とし、未来への限りなき躍進、Nの文字には白色を配し、若人のもつ純真さを表した。

公益財団法人 日本中学校体育連盟憲章

公益財団法人日本中学校体育連盟は、連帯と協調の固い結束により、法人として国の内外における責任と義務を遂行し、国民の信託に応えるべく、ここに会員の総意を結集して、この憲章を定める。

1. 体育・スポーツ活動を通して、人間尊重の精神にみち、心豊かな人間の育成に努める。
1. 体育・スポーツ文化の継承とその進展に寄与し、生涯スポーツ活動の推進に努める。
1. 体育・スポーツの国際交流を通して、中学生の国際理解の推進と国際スポーツの振興に努める。

公益財団法人日本中学校体育連盟指導者綱領

1. 中学校における体育・スポーツ活動を通して、人間性豊かな中学生を育てる。
1. 中学校における体育・スポーツ活動を通して、強健な心身をもつ中学生を育てる。
1. 中学校における体育・スポーツ活動を通して、将来にわたって自己実現できる中学生を育てる。
1. 体育・スポーツの国際交流を通して、国際理解と協調の精神に富む中学生を育てる。

公益財団法人日本中学校体育連盟生徒綱領

1. わたしたちは、体育・スポーツを行い、社会に尽くすよう努めます。
1. わたしたちは、体育・スポーツを行い、強い体と心を養います。
1. わたしたちは、体育・スポーツを行い、生涯にわたってスポーツを愛好します。
1. わたしたちは、体育・スポーツを行い、世界の友との友情を深め平和を目指します。

公益財団法人 日本中学校体育連盟歌

につぼんちゅうたいれん
われら日本中体連

作詞 黒木 昊
作曲 山岡 周子
編曲 丹代 徹

- | | | |
|---|--|--|
| 1 赤い太陽しやく熱の
勝利の勲夢に見て
体を鍛え技を錬る
輝く汗を流すかな
われら日本中体連 | 2 白い景雲 ^{けいうん} 大空の
郷土の誇担いつつ
若き心を培いて
力と意気を示すかな
われら日本中体連 | 3 青い地球ひとびとの
平和の願胸に秘め
世界の友と手をとって
スポーツ文化を築くかな
われら日本中体連 |
|---|--|--|

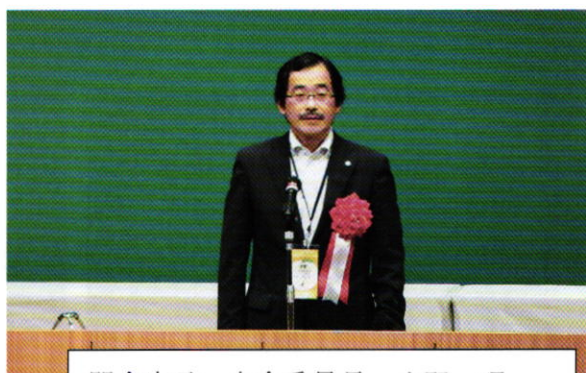
開会式



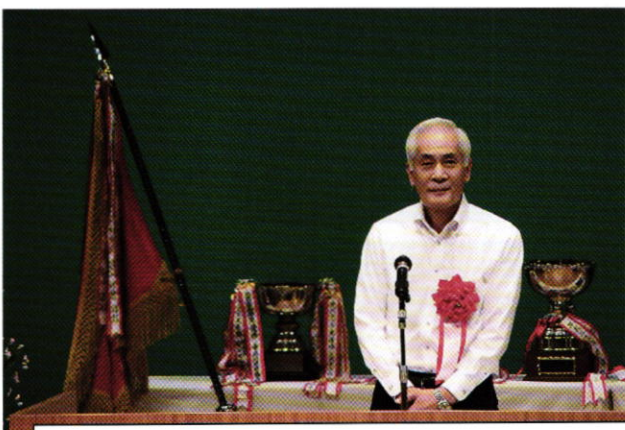
あいさつ
(公財)日本中学校体育連盟
専務理事 菊山 直幸



あいさつ
(公財)日本バドミントン協会
理事 能登 則男



開会宣言 大会委員長 小野 理



あいさつ
愛媛県教育委員会教育長 仙波 隆三



歓迎の言葉 西条市立西条北中学校
徒会長 久岡 実奈美



あいさつ
西条市長 青野 勝



選手宣誓 新居浜市立中萩中学校 原田 峻佑
西条市立西条北中学校 清家 菜々子

会場のようす



競技のようす



閉会式



団体優勝校入場

男子団体 浪岡中（東北：青森）

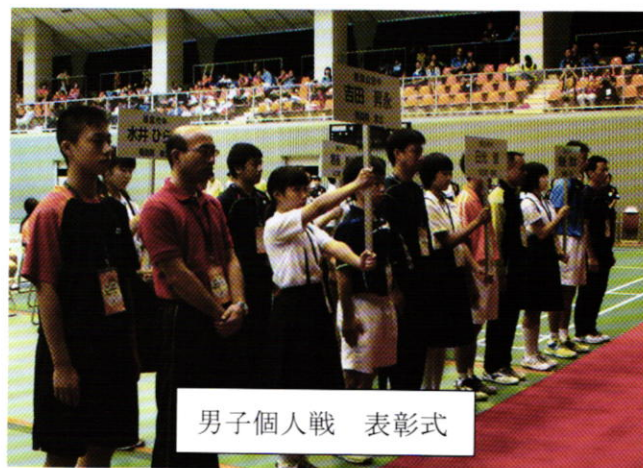
女子団体 猪苗代中（東北：福島）



男子団体優勝 浪岡中（東北：青森）



女子団体優勝 猪苗代中（東北：福島）



男子個人戦 表彰式



女子個人戦 表彰式

目 次

日本中学校体育連盟のページ

大会スナップ写真

1 御礼のあいさつ

愛媛県実行委員会会長 小 野 誠 一 1

2 大 会 講 評

バドミントン競技部長 小 野 理 2

3 大 会 要 項 3

4 大 会 役 員 7

5 競 技 役 員 10

6 開会式・閉会式次第 13

7 平成26年度 全国大会報告書 14

8 男子団体(BT)結果 15

9 女子団体(GT)結果 16

10 男子シングルス(BS)結果 17

11 女子シングルス(GS)結果 18

12 男子ダブルス(BD)結果 19

13 女子ダブルス(GD)結果 20

14 男子団体(BT)結果詳細 21

15 女子団体(GT)結果詳細 24

16 男子シングルス(BS)結果詳細 27

17 女子シングルス(GS)結果詳細 29

18 男子ダブルス(BD)結果詳細 31

19 女子ダブルス(GD)結果詳細 33

20 大 会 回 顧 35



あいさつ

平成26年度 全国中学校体育大会
第44回全国中学校バドミントン大会
愛媛県実行委員会 会長 小野 誠一

「若人よ 蒼き四国で 熱くなれ！」を大会スローガンに、西条市総合体育館を会場に繰り広げられました平成26年度全国中学校体育大会、第44回全国中学校バドミントン大会が、無事終了したことをお礼申し上げます。

本大会は、全国中学生トップアスリートの試合、優勝をめざす中学生の熱い思いが伝わってくる素晴らしい大会でした。また、トップ選手としての自覚ある礼儀・マナーについても、誇りあるものと感じます。参加したすべての選手に感謝申し上げます。

さて、この全国大会で一つの区切りを迎える中学3年生もおられると思います。今後は、自分の進路をしっかりと見つめ学習に励んでください。そして、文武両道をめざし、平成29年えひめ国体では、この全国中学校体育大会に参加した選手が、再びこの愛媛の地でお会いできることを楽しみにしています。また、6年後の東京オリンピックでは、日本を代表する選手に育ってほしいと思います。

終わりに、日本中学校体育連盟、日本バドミントン協会、愛媛県教育委員会、西条市教育委員会をはじめ本大会の準備から運営までご尽力いただきました愛媛県バドミントン協会、西条市バドミントン協会、中学校体育連盟の方々、そして心温まるおもてなしで支えていただきました先生方や生徒役員の皆様、保護者の皆様、本大会に関わりましたすべての方に感謝申し上げ、あいさつといたします。



石鎚山の麓に舞うシャトル

熱き汗と涙の大会

公益財団法人日本中学校体育連盟
バドミントン競技部長 小野 理

西日本最高峰の石鎚山の麓、愛媛県西条市にて開催された第44回全国中学校バドミントン大会。「若人よ 蒼き四国で 熱くなれ!」を大会スローガンに、全国各地から集まった中学生選手が熱き戦いを繰り広げた。会場となった西条市総合体育館には10面のバドミントン専用コートマットを敷設し、さらに、エアコンによる室温調整を行い、理想的とも言える競技場で、選手たちは普段の練習の成果を120%発揮できたと確信する。

競技では、猪苗代中学校（福島県）が4年連続のアベック団体優勝を賭け、男女とも決勝まで進んだが、男子団体は浪岡中学校（青森県）に惜しくも敗れ、4年連続のアベック優勝は達成出来なかった。初の男子団体優勝を成し遂げた浪岡中学校は、男子シングルスにおいても奈良岡功大が1年生にもかかわらず、王者の座に就いた。学校対抗戦になってから、中学1年生の優勝はもちろん初めてであり、ビッグスター選手の登場と言っても過言ではなく、今後の活躍が大いに期待される。おそらく2020年の東京オリンピック選手にもつながる選手と思われる。女子シングルスは同校対決となり、高橋明日香（猪苗代中学校・福島県）が水井ひらり（猪苗代中学校・福島県）を2-0ストレートで破り、女王の座に就いた。女子ダブルスも猪苗代中学校の由良・永井組が優勝し、女子3種目すべてを猪苗代中学校は制覇した。男子ダブルスは金子・久保田組（猪苗代中学校・福島県）が伝統校の埼玉栄中学校（埼玉県）の中山・緑川組を破り、優勝を成し遂げた。男子団体、男子シングルスに制覇した浪岡中学校（青森県）であったが、男子ダブルスの山内・有馬組は3位に甘んじ、3種目制覇は惜しくも逃した。

今大会の特徴としては、開会式で地元中学生の歓迎アトラクションがあり、大会中も随所にわたり心温まる「おもてなし」を感じる大会であった。地元の中学生や線審を行った高校生は実に礼儀正しく、誠実な対応に感銘を受けた。開催地の西条市にはバドミントン部が1校しかない土地柄であったが、教職員の皆さんが総力をあげて大会の準備と運営にあたる姿があり、そのご苦勞に感謝申し上げたい。

競技部会は大会前日の16時から開催する日程に変更となり、ブロック長及び開催地実行委員会にとっても余裕のある日程の中で、会議の開催が出来た。競技部会では、各ブロック長から様々なご意見が出る熱心な討議が繰り広げられた。とくに、競技時の監督・コーチの服装の件や試合時の選手の上衣の裾を下衣に入れる件については、長時間にわたる検討がなされた。

最後に、本大会の開催に関わりました多くの方々に衷心より御礼を申し上げるとともに、大会の中心役となりました「愛媛県中学校体育連盟」の益々のご発展を祈念するものである。

平成26年度 全国中学校体育大会 第44回全国中学校バドミントン大会要項

- 1 目的** この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くバドミントン競技実践の機会を与え技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦を図るものである。
- 2 主催** (公財)日本中学校体育連盟 (公財)日本バドミントン協会 愛媛県教育委員会
西条市教育委員会
- 3 主管** 四国中学校体育連盟 愛媛県中学校体育連盟 愛媛県バドミントン協会
西条市中学校体育連盟 西条市バドミントン協会
- 4 後援** 文部科学省 全日本中学校長会 全国都道府県教育長協議会
全国市町村教育委員会連合会 (公社)日本PTA全国協議会
日本私立中学高等学校連合会 NHK 全国新聞社事業協議会 読売新聞社 毎日新聞社
愛媛県 西条市 愛媛県市町教育委員会連合会 愛媛県小中学校長会 西条市中学校長会
(公財)愛媛県体育協会 (公財)西条市体育協会 愛媛県PTA連合会
西条市PTA連合会 愛媛新聞社 愛媛CATV
- 5 会期** 平成26年8月19日(火)～22日(金)
開会式 19日(火) 12:00～
競技 19日(火) 15:00～ 団体戦1回戦
20日(水) 9:30～ 団体戦決勝まで、個人戦1回戦
21日(木) 9:10～ 個人戦準々決勝まで
22日(金) 9:00～ 個人戦準決勝、決勝
閉会式 22日(金) 11:45～ (競技終了後)
- 6 会場** 西条市総合体育館
〒793-0003 愛媛県西条市 ひうち1番地2 TEL (0897) 53-3006
※ 開会式は、西条市総合文化会館
〒793-0041 愛媛県西条市 神拝甲79番地4 TEL (0897) 53-5500
- 7 参加資格**
- (1) 参加者は、都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍する生徒で、校長及び都道府県中学校体育連盟会長が参加を認めた者とする。
 - (2) 年齢は、平成11年(1999年)4月2日以降に生まれた者に限る。
 - (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、平成26年6月30日までに各都道府県中学校体育連盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
 - (4) 各ブロックの競技要項により全国大会参加資格を得て、所属及び都道府県中学校体育連盟会長が承認した者であること。
 - (5) 団体戦チームは、同一校の監督1名・コーチまたはマネージャー1名・選手5～7名で編成する。
 - (6) 開催地はブロック大会に関係なく、男女団体1チーム・個人シングルス2名・ダブルス2組が出場できる。
 - (7) 参加資格の特例
① 学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

② 参加を希望する各種学校は、以下の条件を具備すること。

ア 全国大会の参加を認める条件

(ア) (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し尊重すること。

(イ) 生徒の年齢及び修業年限が我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。

(ウ) 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が教育活動の一環として日常継続的に当該校顧問教員の指導のもと、適切に行われていること。

イ 全国大会に参加した場合に守るべき条件

(ア) 全国大会開催規準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

(イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長または教員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備えて傷害保険等に参加するなどして万全の事故対策を立てておくこと。

(ウ) 大会開催に要する経費は、必要に応じて応分の負担をすること。

(8) 個人情報の取り扱い(利用目的)

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(公財)日本中学校体育連盟個人情報保護方針・規定に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表(記録集)等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。

8 参 加 料 参加選手1人につき、2,000円とする。

9 引率者及び監督

(1) 参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・教員とする。

(2) 全国大会では外部指導者(コーチ)を置くことができる。この外部指導者(コーチ)は出場校の校長が認めた者とし、所定の「外部指導者(コーチ)確認書」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込時に提出すること。当該校以外の中学校教職員は外部指導者(コーチ)になれない。同一人が複数校の外部指導者(コーチ)になることもできない。

(3) 引率者の特例

全国中学校体育大会の個人種目の参加について、校長・教員が引率できず校長がやむを得ないと判断した場合に限り「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が引率者と承認した外部指導者(コーチ)の引率を認める。

(全国中学校体育大会運営の基本と大会開催基準「全国中学校体育大会引率細則」参照)

10 参 加 数 ブロック割当数 (男女とも同数とする)

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	合計
団体戦	2	3	4	2	2	3	2	2	3	1	24
個人戦単	4	4	6	3	3	4	3	3	4	2	36
個人戦複	4	4	6	3	3	4	3	3	4	2	36

11 競技規則 平成26年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び同公認審判員規程による。

12 使用器具 (公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び、平成26年度第1種検定合格水鳥球を使用する。

13 競技方法 (1) 男女学校対抗戦及び個人戦(男女シングルス・男女ダブルス)を行う。

- (2) トーナメント方式により、優勝を決定する。(3位決定戦は行わない)
- (3) 団体戦は、複2・単1の対抗とし、複・単・複の順に行う。
(同一選手が、単と複または複と複を兼ねて出場することはできない)
- (4) 個人戦は単と複を兼ねて出場することはできない。

14 表彰

	1 位	2 位 ・ 3 位
団 体	賞 状 (公財) 日本中学校体育連盟 賞 状 (公財) 日本バドミントン協会 優勝旗 (公財) 日本バドミントン協会 優勝杯 (公財) 日本バドミントン協会 優勝トロフィー 読売新聞社 トロフィー (公財) 日本中学校体育連盟 トロフィー 実行委員会 メダル (公財) 日本バドミントン協会 メダル 実行委員会	賞 状 (公財) 日本中学校体育連盟 賞 状 (公財) 日本バドミントン協会 トロフィー 読売新聞社 トロフィー 実行委員会 メダル (公財) 日本バドミントン協会 メダル 実行委員会
個 人	賞 状 (公財) 日本中学校体育連盟 賞 状 (公財) 日本バドミントン協会 優勝杯 (公財) 日本バドミントン協会 優勝トロフィー 読売新聞社 優勝トロフィー 実行委員会 メダル (公財) 日本バドミントン協会 メダル 実行委員会	賞 状 (公財) 日本中学校体育連盟 賞 状 (公財) 日本バドミントン協会 トロフィー 読売新聞社 トロフィー 実行委員会 メダル (公財) 日本バドミントン協会 メダル 実行委員会

※ 優勝旗・優勝杯 ((公財) 日本バドミントン協会) は、持ち回りとする。

15 参加申込

(1) 申込方法

大会プログラム作成の関係上、各ブロック大会までに、所定の申込書を大会ホームページよりダウンロードしておく。出場権を獲得後、直ちに必要事項を入力の上メールにて仮申込を行う。その後、押印された正式申込書を、下記の申込先へ、8月9日(土)必着で送付すること。メールで仮申込した文書と、正式申込書の記入内容に差異がないようにし、仮申込送信後の選手変更等は所定の方法にて行うこと。

(2) 申込先

〒 790-0947
愛媛県松山市 市坪南1丁目1番20号 松山市立 椿中学校内
「第44回全国中学校バドミントン大会 実行委員会事務局」
大会実行委員長 坂本利夫 080-6285-8261
TEL (089) 961-4037 FAX (089) 961-4038
E-mail : zenchu-badminton@ehimejpa.com
ホームページ <http://www.ehimejpa.com/badminton/>

(3) 引率に関わる外部指導者の報告書

引率者の特例における「全国中学校体育大会引率者・監督者報告書」は、大会参加申込書とともに、上記事務局へ提出すること。

(4) 参加料の納入

参加選手(大会参加申込書に記入された選手)一人につき 2,000円(団体戦と個人戦の両方に登録された場合も 2,000円とする)を、大会参加申込書の発送と同時に、上記事務局に振込で納入すること。

振込先	愛媛銀行 古川支店(017) 普通 3913935
口座名義人	第44回 全国中学校バドミントン大会 事務局 青野 保樹 (ダイ44カイ ゼンコチュウガッコウ バドミントンタイ ジムキョク アノヤシ)

16 組合せ 第44回全国中学校バドミントン大会実行委員会に一任とする。

※ 組合せ会議 平成26年8月11日(月) 13時～

場所 道後温泉 にぎたつ会館 会議室

住所 松山市 道後姫塚118番地2

電話 (089) 941-3939 FAX (089) 932-8370

17 諸会議 (1) (公財)日本中学校体育連盟バドミントン競技部会(ブロック代表者会議)

平成26年8月18日(月) 16:00～ ひうち体育館 研修室

(2) 監督会議

平成26年8月19日(火) 10:30～ 西条市総合文化会館 小ホール

18 宿泊 宿泊については、別紙の「宿泊要項」による。適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、必ず大会実行委員会指定の業者を通して申し込むこと。

(指定外の宿泊施設の利用は原則認めない)

申込締切日 平成26年8月12日(火)

取り扱い業者	JTB 中国四国 松山支店
「第44回全国中学校バドミントン大会 全中デスク」担当: 松下・ ^{めんで} 免出・濱田	
〒790-0003 松山市三番町4丁目12番地10	
TEL	(089) 943-3321
FAX	(089) 934-6626

19 備考

(1) 大会期間中の負傷・疾病については応急処置のみ行う。また、本大会は独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。なお、参加者は健康保険証を持参することが望ましい。

(健康保険証がないと保険医療が受けられない場合がある)

(2) 大会参加に関しては、大会要項及び大会参加細則を熟読の上、参加すること。

(3) (公財)日本バドミントン協会 環境委員会からのお願い

○ 開催地のゴミの分別収集に、協力してください。

○ 宿泊先の部屋から出るときには、エアコン・テレビ・ライトのスイッチを消してください。

○ マイ歯ブラシを持参して、大会に参加してください。

20 連絡先

(1) 大会開催前 平成26年4月 1日(火)～ 8月18日(月)「15 参加申込 (2)申込先」とする。

(2) 大会期間中 平成26年8月19日(火)～ 8月22日(金)

西条市ひうち会館内	大会本部
〒793-0003	愛媛県西条市 ひうち1番地16
TEL	(0897) 53-1131
FAX	(0897) 53-1132
大会実行委員長 坂本	080-6285-8261
事務局長 青野	080-6285-8255

大 会 役 員

名 誉 会 長 (公財) 日本バドミントン協会会長

名 誉 副 会 長 愛媛県知事

西条市長

会 長 (公財) 日本中学校体育連盟会長

副 会 長 (公財) 日本中学校体育連盟副会長

(公財) 日本中学校体育連盟専務理事

(公財) 日本バドミントン協会副会長

(公財) 日本バドミントン協会専務理事

愛媛県教育委員会教育長

愛媛県中学校体育連盟会長

愛媛県バドミントン協会会長

名 誉 顧 問 (公財) 日本中学校体育連盟顧問

NHK会長

顧 問 文部科学省スポーツ・青少年局長

文部科学省大臣官房審議官

(公財) 日本中学校体育連盟参与

(公財) 日本バドミントン協会顧問

(公財) 日本バドミントン協会加盟団体長

綿貫 民輔

中村 時広

青野 勝

松岡 敬明

渡辺 政義

菊山 直幸

榎井 勝人

今井 茂満

仙波 隆三

小野 誠一

中村 時広

小野 清子

榎井 勝人

久保 公人

芦立 訓

壺内 明

三辻 陽夫

三町 章

森 喜朗

村上 忠治

清水規矩雄

福田 武

牧野 武

岡本 武利

里見 光徳

油井 秀男

川島 一郎

加藤 寛治

藤原 航

栗原 進

齊藤 永吉

遠井 稔男

千葉 健夫

平林 良治

石川 博義

澤 長壽

野村 安忠

岡崎 彬

西野 昌明

中尾 昌由

相澤 潔

秋草 直之

榎井 勝人

木ノ本静次

関根 義雄

木村 洋二

新藤 久典

塩田 壽久

関谷 勝嗣

橋本 角市

平田登志郎

内多小五郎

村山 幸雄

本郷 節生

山根 怜

木村 寛

板垣 隆房

原 紀征

真壁 幹雄

中村 弘

鈴木 隆一

日野 昇

杉田 博

綿貫 民輔

末岡 熙章

田中田鶴子

石田 真敏

田村 興造

中村 時広

里脇 清隆

池田 徹

関場 武

小野 理

宮川 幸人

岩瀬 正司

大江 近

細谷 美明

森田 一

権田 正一

青木 昭二

小宮 淳宏

濱中 誠

三宅 祐司

佐藤 芳朗

遠井 稔男

星野 忠男

鈴木 勝之

竹林 克彦

永井 祥一

磯井 貞夫

保坂 和也

嵯峨 元

金森 正

三宅 祐司

加藤 博司

林 芳正

西森 潮三

富田 浩

金城 芳雄

埴山 好和

宇留間 準

林 芳正

原 二三雄

毛利 清志

吹田 修一

福岡 幸一

野村 嘉明

竹林 克彦

岡村 英男

藤本 滋

中山 紀子

菅原 周一

手塚 克彦

有瀬 浩一

宮川 忠和

中嶋 光司

杉山 忠国

大前 繁雄

成相 安信

松浦 稔明

本田 正寛

近藤 稔

関根 義雄

藤田 庸右

参 与	愛媛県議会議長	明比 昭治			
	愛媛県副知事	長谷川淳二			
	愛媛県教育委員会教育委員長	松岡 義勝			
	西条市議会議長	藤田 節雄			
	西条市教育委員会教育委員長	今井 博志			
	西条市教育委員会教育長	菊池 篤志			
	NHK理事・放送総局長	板野 裕爾			
	全国都道府県教育長協議会会長	比留間英人			
	全国市町村教育委員会連合会会長	小比類巻勲			
	全日本中学校長会会長	松岡 敬明			
	全日本中学校長会副会長	吉田 俊樹	君島 勇吉	富士池武仁	下村 純也
		奥田 晃	山根 貴史	住友 裕二	上河洲 隆
	(公社)日本PTA全国協議会会長	尾上 浩一			
	日本私立中学高等学校連合会会長	吉田 晋			
	文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ振興課長	森岡 裕策			
	文部科学省スポーツ・青少年局競技スポーツ課長	坪田 知広			
	文部科学省スポーツ・青少年局参事官(体育・青少年スポーツ担当)	宮内 健二			
	愛媛県教育委員会保健体育課長	近藤 正典			
	愛媛県教育委員会国体競技力向上対策室長	村山俊一郎			
	愛媛県教育委員会義務教育課長	吉田 慎吾			
	(公財)愛媛県体育協会会長	大亀 孝裕			
	NHK報道局スポーツセンター長	樋口 昌之			
	NHK視聴者総局事業センター長	小野 昭一			
	NHK松山放送局長	原田 達也			
	西条市体育協会会長	田中 稲造			
	愛媛県小中学校長会会長	越智 眞次			
	西条市中学校長会会長	武田 伸			
	読売新聞東京本社取締役事業局長	河田 卓司			
	全国新聞社事業協議会代表幹事	渋谷 和久			
大会委員長	(公財)日本中学校体育連盟バドミントン競技部長	小野 理			
大会副委員長	(公財)日本中学校体育連盟担当理事	菊山 直幸			
	(公財)日本バドミントン協会派遣理事	小野 理			
	(公財)愛媛県体育協会副会長	戒能潤之介	土居 英雄		
	愛媛県中学校体育連盟副会長	木原 啓三	石川 史朗	山本 英明	
	愛媛県バドミントン協会副会長	瀧山 一甫	新名 静夫	野本 勝	濱中 勉
	西条市中学校体育連盟会長	伊藤 彰浩			
大会委員	(公財)日本中学校体育連盟常務理事	朝間 康子	木津 博文	舟橋 昭太	上河内 剛
	(公財)日本中学校体育連盟理事	石田 明男	高田 和英	森 乙平	月成 庄造
		坪井 義夫	大河原嘉朗	本村 清人	石川恵一郎
		櫻井 健二	東田 省三		
	(公財)日本中学校体育連盟監事	齋藤 文秀	清原 正泰		
	(公財)日本中学校体育連盟全国大会対策委員	尾崎 英弥	日置 利道	山野井純夫	
		青山 範夫	伊藤 文人	林 憲治郎	
		中林 健二	富田 武志	宮川 剛	

(公財)日本中学校体育連盟バドミントン競技ブロック長	福本 敏洋	太田 英也	横塚 一弘	
	宮前 仁	柘植 裕之	嘉生 寛	
(公財)日本バドミントン協会理事	中原 修二	坂本 利夫	岩下 太郎	
	阿部 秀夫	小野 理	河崎 正紀	河野 幸男
	埴山 好和	坂上 昭	佐竹 養一	芝 スミ子
	銭谷 欽治	高橋 英夫	民谷千寿子	千葉 健夫
(公財)日本バドミントン協会監事	西村 健二	能登 則男	村元 英美	山田順一郎
愛媛県教育委員会保健体育課主幹	浅岡 武	上原 信彦	藤原 和文	
(公財)愛媛県体育協会専務理事	平井 繁樹			
(公財)愛媛県体育協会常務理事	藤原 恵			
(公財)愛媛県体育協会理事	渡部 敏夫			
	荒木 正美	河野 賢嗣	武智 誠治	藤田 恭二
	俊野 忠彦	村山俊一郎	横田 潔	倉田 茂
	田邊 亮介	竹宮 直孝	松浦 祐一	明比 昭治
	東倉 勝利			
西条市保健福祉部スポーツ推進官	齊藤 慎二			
西条市教育委員会指導部長	永井 克征			
西条市教育委員会学校教育課長	青野 健児			
愛媛県バドミントン協会理事長	松野木 聡			
四国各県バドミントン協会理事長	藤原 和文			
西条市バドミントン協会会長	藤田 光男			
愛媛県中学校体育連盟理事長	小笠原洋司			
大会総務 (公財)日本中学校体育連盟事務局長	平手 陽			
(公財)日本中学校体育連盟事務局職員	松井真姫子	田中 恵子		
(公財)日本バドミントン協会事務局長	能登 則男			
愛媛県教育委員会保健体育課担当係長	友澤 義弘			
愛媛県教育委員会保健体育課指導主事	中矢 丈士			
西条市教育委員会学校教育課指導係長	安倍 和紀			
愛媛県バドミントン協会事務局長	名智 満			
西条市バドミントン協会理事長	村上 広徳			
愛媛県レディースバドミントン連盟理事長	岡田 竹美			
愛媛県教職員バドミントン連盟理事長	樽島 博幸			
愛媛県実業団バドミントン連盟理事長	石井 健一			
愛媛県小学生バドミントン連盟理事長	黒光 律子			
愛媛県高等学校体育連盟理事長	竹宮 直孝			
愛媛県高等学校体育連盟バドミントン専門部委員長	信尾 道孝			
愛媛県中学校体育連盟事務局長	池内 裕紀			
西条市中学校体育連盟理事長	青野 保樹			
愛媛県実行委員会バドミントン競技事務局	二宮 安道	土居原 歩	二宮 健	稲垣 裕子

競 技 役 員

競技役員長
(レフェリー)

上松 芳則

競技審判部長
(デビュティレフェリー)

川上 隆庸

競技審判副部長
競 技 部 長
競技部副部長

二宮 安道 二宮 健 稲垣 裕子
小野 理
福本 敏洋 太田 英也 横塚 一弘 宮前 仁 柘植 裕之
嘉生 寛 中原 修二 坂本 利夫 岩下 太郎

競 技 部

部 長
進 行 係
放 送 係
オ ー ダ ー 係
シ ャ ト ル 係
招 集 誘 導 係
医 療 係

久保 善嗣
大澤 政志 二宮 健 稲垣 裕子 前田 智裕
篠原まゆみ 藤友 弘子 村上幸栄子 真鍋理津子
森川恵都子 渡部 容子 柏木沙弥佳
土居原 歩 田口 孝宣 越智 豊文
森川 宣典 柳瀬 宏紀 檜垣 浩二 森貞 邦宏 和田佳菜子
原 真也 井上 律 羽藤 優作 莖田 篤史 加地 寿光 河本 哲
曾我部謙一 原田 晃子 近藤 真紀 今井 尚子 神山あゆみ 近藤志津子
矢野 絹子 高橋 英子 松木 逸子 眞鍋 絵美 永易 榮子 和田 亜弥
榊田 弘美 高橋さくら 今井 祐美 杉山 慶子 佐々木直美 萩尾 有希
山本 由実 高橋 まみ 藤原 昌子 忽那 瑞紀 村上 加津 秋山 富世
野間さゆり 真鍋 陽子 向井 久子 吉原 沙記 杉 寿美 渡部 園恵
首藤美代加 藤原亜希子

審 判 部

部 主 審 係
主 審 係
線 審 係
線 審 係
得 点 係
得 点 表 示 員

二宮 安道
埴生 隆志 西村 祥一
愛媛県バドミントン協会 審判員
奥田 真司 秋山 啓太
愛媛県立西条高等学校
愛媛県立西条農業高等学校
愛媛県立新居浜工業高等学校
愛媛県立今治南高等学校
谷 慎一 矢野 秀和
西条市立西条北中学校バドミントン部員

総 務 部

部 企 画 係
製 作 係
I D カ ー ド
庶 務 ・ 会 計 係

青野 保樹
土居原 歩 稲垣 裕子 二宮 健
高橋 敬二 土川 法大 徳永 治美 福原 知恵 松本 暢明
井出 真希 玉井 瑞夏 齊藤 昌彦
加地 寿光 河本 哲
青野 省三 森川恵都子

受付接待部

部 受 付 ・ 案 内 係
接 待 係

白石 京子
松本 智子 伊藤 文子 関野 幸恵 藤岡三奈子 茨木 仁美
青野 美佳 近藤由希子 野間絵莉子 河原 沙耶 今井 千恵
関口 美香 青野 梅嫁 目見田美香 佐伯 美佳 河野 理恵 佐伯めぐみ
稲井 千里 横内 直子 長谷部真由美 中村 由香 井上美和子 松木 志保
平田 夏未 竹田 緑 高橋 美香 戸田由美子 川尻 容子 加藤 貴子

宿泊・輸送部 部長 村上 正人
 宿泊・輸送係 佐伯 仁規 杉山 安隆

記録・広報部 部長 外山 英明
 記録揭示係 森田 敦 岸本 忠雅 桧垣 宗弘 飯尾 謙一 山内 直樹
 速報係 武田 洋輔 松本 雅裕 今井 充彦 戸田 行宣
 広報係 井上 彰 紀井 伸章
 ホームページ 戸田 修治 伊藤 貴仁 手島 哲博
 ビデオ 高松 賢二 近藤 祐輔 藤田 周平

式典部 部長 浅井 二郎
 会場 渡部 晋二 竹上 昌三
 アナウンス 宇野 嘉則 藤友 弘子 中谷 優大 中川 典子 河村 修佳
 表彰係 越智 祐二 松井 優子 中野 美紀
 浄書 渡部 聡 秋川 雅与 戸田 博美 中野 敦子 濱口 尚子 高津亜樹子
 プラカード 富永 洋平 松木 千晶 武田 志津
 代表者指導 三井 隆司 渡部 晃浩
 セレモニー 磯 恒子

会場部 部長 黒河 幸彦
 競技会場係 一色 正博 星加 往寛 細川啓一郎 西田 寿 木原 敏彦 青山 敬明
 佐伯 武 白石 憲司 寺川 祐貴 神野 雅彦 倉崎 博 浅野 克司
 コート整備係 藤田 栄二 武田 俊明
 練習会場係 石原 幸治 佐伯 文彦 青野いずみ 高橋 留美 白井 未来 渡部 詳子
 工藤 優介 一柳 貞己 直野 圭子 矢野 有香 伏見 泰博 山下 佳久
 渡邊 咲子 田窪 直樹 村上 翔子 村上 和 大谷 隼 本多 智隆
 田窪 大介 森川 佳潔 石川 敬之 脇田 康一 白石 建彦 白石 一史
 河野 寛昭 山崎 亮一 月岡 俊 佐々木 寿 木村 光宏 渡邊 敬祐
 一色 司
 駐車場係 神野 誠 宇佐 徳昭 在間 正樹 飯尾 茂 藤原 道明 山口 真司
 別府 堯明 宮田 裕之 久保 拓也 戸田 哲也 壺内 大基 浅並 秀樹
 白石 玲子 白川 尚弘 越智 誠司 井上 博 菅 道正 福原 誠
 合田 大 佐藤 聖史 永尾 周三 佐藤 一久 内田 賢雄 松田 晃典
 石川 典英 宮崎 光敏 守屋 智彦 久岡 佑旗 尾田 生馬 塩出 智法
 松本 研司 西森 大輔

生徒役員 西条市立西条東中学校
 西条市立西条西中学校
 西条市立西条南中学校
 西条市立西条北中学校
 西条市立丹原東中学校
 新居浜市立東中学校

合唱 西条市立西条北中学校

MEMO

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

開 会 式 次 第

- | | | | |
|----|-----------|--|-------------------------------|
| 1 | 開式通告 | | |
| 2 | 開会宣言 | 大会委員長 | 小 野 理 |
| 3 | 国旗掲揚 | 「国歌斉唱 並びに 国旗掲揚」 | |
| 4 | 諸旗掲揚 | 「われら日本中体連」 | |
| 5 | 優勝旗・優勝杯返還 | 男子団体 猪苗代町立猪苗代中学校 (福島県)
女子団体 猪苗代町立猪苗代中学校 (福島県)
男子個人単 渡邊 航貴 (埼玉県埼玉栄中学校)
女子個人単 仁平 菜月 (福島県猪苗代町立猪苗代中学校)
男子個人複 本田 大樹 筑後 恵太 (福島県猪苗代町立猪苗代中学校)
女子個人複 曾根 夏姫 二村 ひとみ (青森県青森山田中学校) | |
| 6 | あいさつ | (公財) 日本中学校体育連盟理事
(公財) 日本バドミントン協会会長
愛媛県教育委員会教育長 | 松 岡 敬 明
綿 貫 民 輔
仙 波 隆 三 |
| 7 | 歓迎の挨拶 | 西条市長 | 青 野 勝 |
| 8 | 歓迎の言葉 | 西条市立西条北中学校生徒会長 | 久 岡 実奈美 |
| 9 | 選手宣誓 | 男子 愛媛県 新居浜市立 中萩中学校
女子 愛媛県 西条市立 西条北中学校 | 原 田 峻 佑
清 家 菜々子 |
| 10 | 閉式通告 | | |

閉会式次第

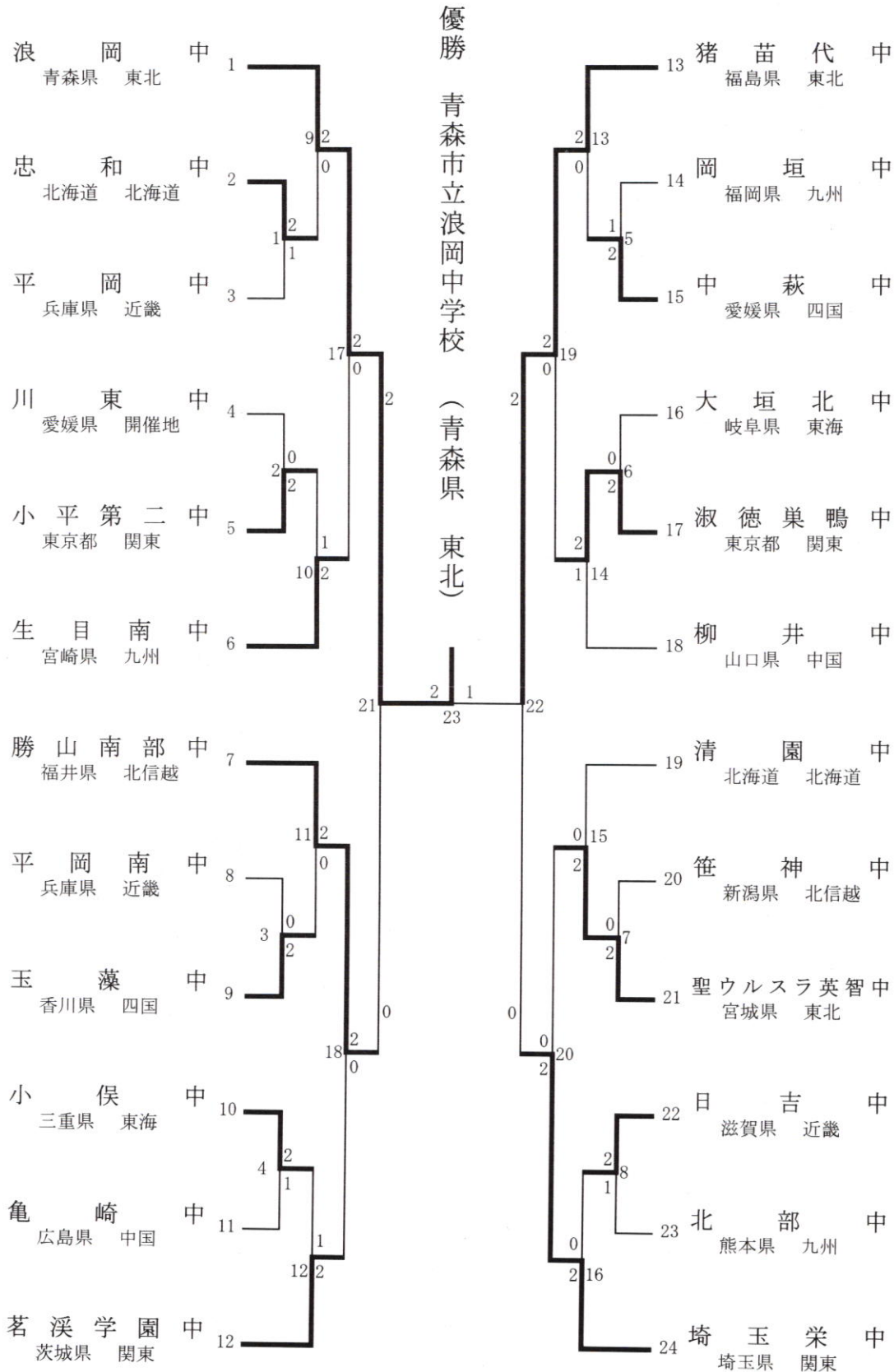
- | | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | 開 式 通 告 | | |
| 2 | 成績発表・表彰 | 競技役員長
(公財) 日本中学校体育連盟
(公財) 日本バドミントン協会
読売新聞社
愛媛県実行委員会 | 上 松 芳 則 |
| 3 | あいさつ | (公財) 日本中学校体育連盟理事 | 松 岡 敬 明 |
| 4 | 国旗・諸旗降納 | (公財) 日本バドミントン協会会長 | 綿 貫 民 輔 |
| 5 | 閉 会 宣 言 | 愛媛県バドミントン実行委員会会長 | 小 野 誠 一 |
| 6 | 閉 式 通 告 | | |

競技 バドミントン

成績

第44回全国中学校バドミントン大会

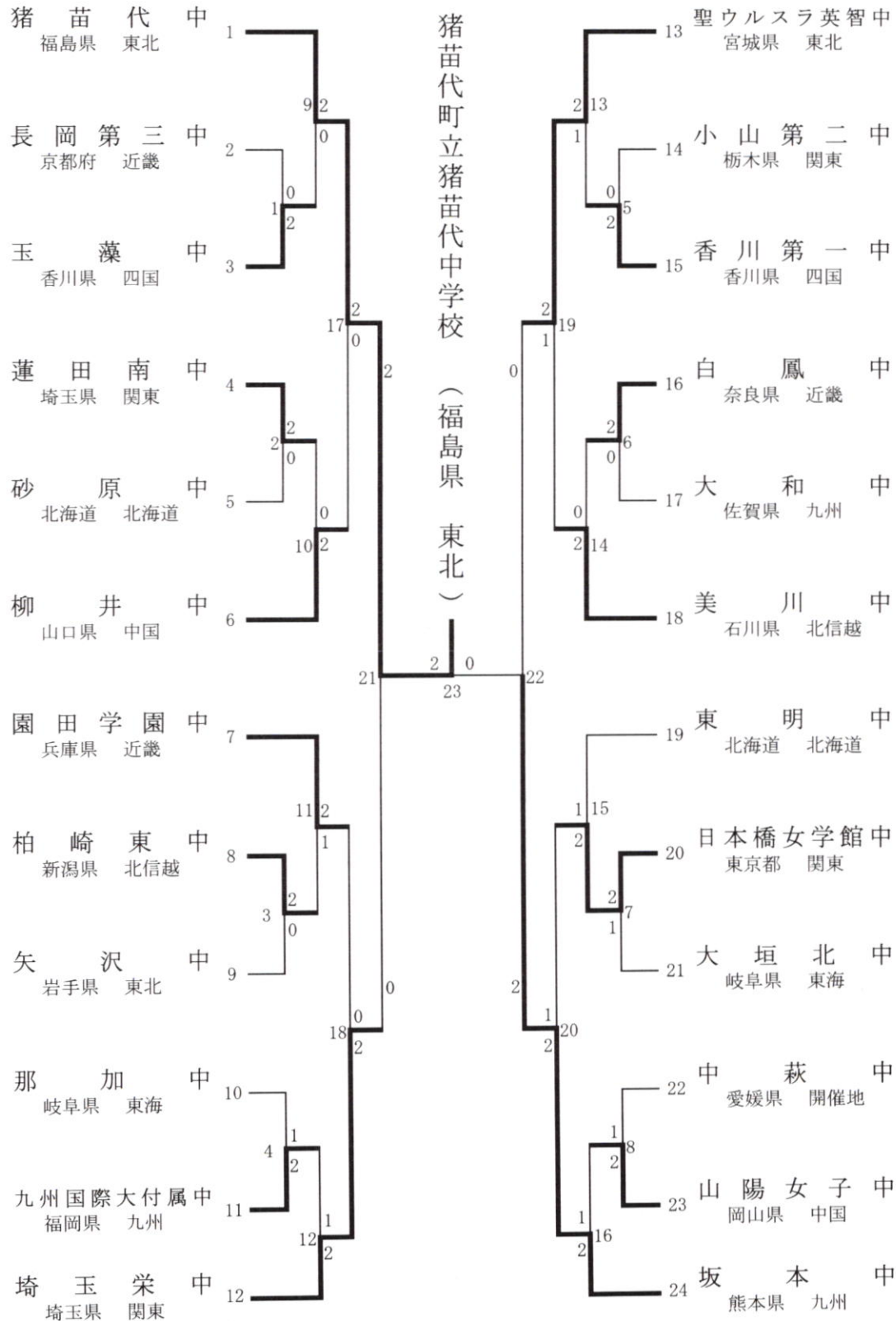
男子団体



第44回全国中学校バドミントン大会

女子団体

優勝



第44回全国中学校バドミントン大会

優勝
青森市立浪岡中学校
(青森県東北)

鈴木 木雄 治 1
埼玉県 関東
小川 涼 真 2
陸別中 北海道
東 亮 太 3
雄新中 愛媛県 開催地
川本 虎之 介 4
加美南中 大阪府 近畿
中 島 圭 寿 5
沖田中 福岡県 九州
村瀬 康之 介 6
岩成台中 愛知県 東海
高 橋 玄 7
越路中 新潟県 北信越
吉 田 昇 永 8
青森山中 青森県 東北
長 友 壮 志 9
柳井中 山口県 中国
渡部 昌 太 10
重信中 愛媛県 四国
谷 口 侑 弥 11
城南中 京都府 近畿
杉 山 潤 12
若溪学園中 茨城県 関東
田 中 湧 士 13
菊池南中 熊本県 九州
橋本 瞬次 郎 14
清園中 北海道
大 西 魁 15
小俣中 三重県 東海
本 巢 智 央 16
鬼怒中 栃木県 関東
道 下 凌 我 17
高岡西部中 富山県 北信越
筑 後 恵 太 18
猪苗代中 福島県 東北

奈良岡 功大 19
浪岡中 青森県 東北
小 本 大 佑 20
北部中 熊本県 九州
丹 波 哲 男 21
平岡中 兵庫県 近畿
一 井 亮 太 22
備前中 岡山県 中国
楠 航 介 23
勝山中 愛媛県 四国
池 田 佑 介 24
芽室中 北海道 北海道
中 林 寛 貴 25
名古屋経済大市邨中 愛知県 東海
須 永 匠 26
相生中 群馬県 関東
大 林 拓 真 27
勝山南部中 福井県 北信越
村 本 竜 馬 28
時津中 長崎県 九州
江 越 恵 伍 29
小平第二中 東京都 関東
吉 本 光 太 朗 30
雄新中 愛媛県 四国
澄 川 考 志 31
牛田中 広島県 中国
友 金 利 玖 斗 32
丸山中 兵庫県 近畿
加 藤 太 基 33
豊浦中 北海道 北海道
永 井 螢 34
津田中 愛媛県 開催地
田 村 翔 35
青森山中 青森県 東北
日 光 駿 36
埼玉栄中 埼玉県 関東

第44回全国中学校バドミントン大会

男子ダブルス

金子 真大・久保田 友之祐 猪苗代中 福島県 東北	1	優勝	山内 恭弥・有馬 堯嗣 浪岡中 青森県 東北	19
重松 隼人・名葉 智信 淑徳巣鴨中 東京都 関東	2	猪苗代町立猪苗代中学校 (福島県 東北)	松井 尚輝・平野 大輔 相生中 群馬県 関東	20
諸田 懐音・大橋 康平 大垣北中 岐阜県 東海	3		辻 健太郎・藤川 歩武 柳井中 山口県 中国	21
加藤 黎・伊藤 吏永 高岡中 石川県 北信越	4		弘瀬 公貴・片岡 成 高知南中 高知県 四国	22
溝上 智明・古賀 健太郎 武雄青陵中 佐賀県 九州	5		清水 康士郎・南茂 蓮太 勝山南部中 福井県 北信越	23
永恵 康資・今泉 智哉 平岡南中 兵庫県 近畿	6		和田 季・浅井 雅沙矢 北部中 大分県 九州	24
竹俣 光聖・深田 崇人 清園中 北海道 北海道	7		深谷 祐太・本田 晃太 石岡中 茨城県 関東	25
柴田 陽登・福嶋 壮太 小平第二中 東京都 関東	8		牧 聖司・長谷川 慧 東明中 北海道 北海道	26
原田 峻佑・曾我部 祥多 中萩中 愛媛県 四国	9		川端 健太郎・山中 一新 南郷中 大阪府 近畿	27
竹林 雄・國分 俊秀 大府南中 愛知県 東海	10		齊藤 大樹・宮本 章吾 壮瞥中 北海道 北海道	28
江藤 稜太・江藤 佑太 東野中 熊本県 九州	11		出口 啓悟・鈴木 正宗 倉田山中 三重県 東海	29
伏見 和真・永 岑 航 古高松中 香川県 四国	12		木田 能大・新家 陽介 上市中 富山県 北信越	30
川本 祐希・石橋 宏海 亀崎中 広島県 中国	13		福井 亮介・西原 弘崇 河北中 鳥取県 中国	31
塚本 翔太・川端 直人 埼玉栄中 埼玉県 関東	14		黒川 秀平・甲斐 聡一郎 川内中 愛媛県 開催地	32
橋田 拓弥・永井 武蔵 平岡中 兵庫県 近畿	15		中山 裕貴・緑川 大輝 埼玉栄中 埼玉県 関東	33
星加 湧哉・村上 諒 川東中 愛媛県 開催地	16		後藤 海斗・家壽多 慶太 浪岡中 青森県 東北	34
武田 駿希・泉 湧 登 朝里中 北海道 北海道	17		藤井 大樹・西林 政樹 大成中 奈良県 近畿	35
嶺岸 洸・齋藤 晃輝 聖ウルスラ英智中 宮城県 東北	18		岩切 樹・樋口 太一 生目南中 宮崎県 九州	36

第44回全国中学校バドミントン大会

— 20 —

平成26年度 第44回全国中学校バドミントン大会

〈男子団体 1 回戦結果詳細〉

番号	学校名	スコア										学校名
1 (一回戦)	旭川市立 忠和中学校 北海道 北海道	2	ダブルス					1	加古川市立 平岡中学校 兵庫県 近畿			
			鞠古 翔太 中山 諄	2	21 21	- -	14 7			0	宮里 力斗 中田 大地	
			シングルス									
			高橋 大輝	1	15 20	- -	21 15			2	丹波 哲男	
2 (一回戦)	小平市立 小平第二中学校 東京都 関東	2	ダブルス					0	新居浜市立 川東中学校 愛媛県 四国			
			柴田 陽登 福嶋 壮太	2	21 21	- -	9 8			0	村上 諒 園部 慎一郎	
			シングルス									
			江越 恵伍	2	21 21	- -	18 11			0	星加 湧哉	
3 (一回戦)	高松市立 玉藻中学校 香川県 四国	2	ダブルス					0	加古川市立 平岡南中学校 兵庫県 近畿			
			新居 厚人 岡田 佑生	2	21 21	- -	18 18			0	永恵 康資 渡辺 雄斗	
			シングルス									
			池田 圭吾	2	21 21	- -	12 11			0	上田 篤郎	
4 (一回戦)	伊勢市立 小俣中学校 三重県 東海	2	ダブルス					1	広島市立 亀崎中学校 広島県 中国			
			椿 陣 矢形 健太郎	0	23 17	- -	25 21			2	川本 祐希 石橋 宏海	
			シングルス									
			大西 魁	2	21 14	- -	5 21			1	川本 拓真	
5 (一回戦)	新居浜市立 中萩中学校 愛媛県 四国	2	ダブルス					1	岡垣町立 岡垣中学校 福岡県 九州			
			竹川 真善 荒木 那智	2	21 21	- -	13 17			0	猪足 勇輝 寺田 浩太郎	
			シングルス									
			十河 達希 鈴木 右京	0	7 6	- -	21 21			2	伊藤 良樹 小田 一晴	
6 (一回戦)	淑徳巣鴨中学校 東京都 関東	2	ダブルス					0	大垣市立 北中学校 岐阜県 東海			
			曾我部 祥多	2	21 21	- -	7 7			0	染川 風	
			シングルス									
			原田 峻佑 久保 舜史	2	21 19	- -	15 21			1	藤吉 琉温 山崎 孝樹	
7 (一回戦)	聖ウルスラ学院 英智中学校 宮城県 東北	2	ダブルス					0	阿賀野市立 笹神中学校 新潟県 北信越			
			田中 啓一朗 上田 竜也	2	21 21	- -	18 13			0	諸田 懐音 大橋 康平	
			シングルス									
			佐々木 拓也	2	21 21	- -	12 11			0	後藤 弓人	
8 (一回戦)	大津市立 日吉中学校 滋賀県 近畿	2	ダブルス					1	熊本市立 北部中学校 熊本県 九州			
			重松 隼人 名葉 智信		---	---	---			---	澤 元彌 福井 省太	
			シングルス									
			塚本 光平 嶋川 景斗	0	17 13	- -	21 21			2	内田 隼輔 小本 大佑	
9 (一回戦)	旭川市立 忠和中学校 北海道 北海道	2	ダブルス					0	加古川市立 平岡南中学校 兵庫県 近畿			
			嶺岸 洸 齋藤 晃輝	2	21 21	- -	9 8			0	石塚 凌 小林 悠斗	
			シングルス									
			日野 滋斗	2	21 21	- -	10 9			0	石塚 稜梧	
10 (一回戦)	新居浜市立 中萩中学校 愛媛県 四国	2	ダブルス					1	熊本市立 北部中学校 熊本県 九州			
			寺島 颯大 佐藤 孝伸		---	---	---			---	金田 琉偉 大月 一摩	
			シングルス									
			三宅 将平	2	16 21	- -	21 15			1	池端 元哉	
11 (一回戦)	大津市立 日吉中学校 滋賀県 近畿	2	ダブルス					0	熊本市立 北部中学校 熊本県 九州			
			永谷 拓海 本庄 佑基	2	21 27	- -	13 25			0	堤 暁寛 古本 将也	
			シングルス									
			三宅 将平	2	16 21	- -	21 15			1	池端 元哉	

平成26年度 第44回全国中学校バドミントン大会

〈男子団体2回戦結果詳細〉

番号	学校名	スコア										学校名
9 (二回戦)	青森市立 浪岡中学校 青森県 東北	2	ダブルス					0	旭川市立 忠和中学校 北海道 北海道			
			山内 恭弥 有馬 克嗣	2	21 21	- -	7 12			0	鞠古 翔太 中山 諄	
			シングルス									
			後藤 海斗	2	21 20 21	- - -	13 22 19			1	高橋 大輝	
ダブルス					橋 聖弥 蝦夷森 駿							
10 (二回戦)	宮崎市立 生目南中学校 宮崎県 九州	2	ダブルス					1	小平市立 小平第二中学校 東京都 関東			
			小川 翔悟 池田 大将	0	5 3	- -	21 21			2	柴田 陽登 福嶋 壮太	
			シングルス									
			森田 新太郎	2	21 21	- -	4 10			0	田口 陽征	
ダブルス					江越 恵伍 藤川 海颯							
11 (二回戦)	勝山市立 勝山南部中学校 福井県 北信越	2	ダブルス					0	高松市立 玉藻中学校 香川県 四国			
			斎藤 楓 上田 健志郎	2	21 22	- -	16 20			0	岡本 和貴 山根 卓也	
			シングルス									
			大林 拓真	2	21 21	- -	17 14			0	池田 圭吾	
ダブルス					新居 厚人 岡田 侑生							
12 (二回戦)	茗溪学園中学校 茨城県 関東	2	ダブルス					1	伊勢市立 小俣中学校 三重県 東海			
			岩岡 力也 杉山 大和	2	21 21	- -	15 14			0	椿 陣 矢形 健太郎	
			シングルス									
			杉山 潤	1	17 21 15	- - -	21 18 21			2	大西 魁	
ダブルス					竹川 真善 荒木 那智							
13 (二回戦)	猪苗代町立 猪苗代中学校 福島県 東北	2	ダブルス					0	新居浜市立 中萩中学校 愛媛県 四国			
			高上 麟龍 山田 尚輝	2	21 21	- -	16 11			0	原田 峻佑 久保 舜史	
			シングルス									
			筑後 恵太	2	21 21	- -	9 17			0	曾我部 祥多	
ダブルス					十河 達希 鈴木 右京							
14 (二回戦)	淑徳巣鴨中学校 東京都 関東	2	ダブルス					1	柳井市立 柳井中学校 山口県 中国			
			田中 啓一朗 上田 竜也	2	21 16 21	- - -	16 21 17			1	藤川 歩武 辻 健太郎	
			シングルス									
			鈴木 玲生	0	7 18	- -	21 21			2	長友 壮志	
ダブルス					沖山 侃右 長村 憲志							
15 (二回戦)	聖ウルスラ学院 英智中学校 宮城県 東北	2	ダブルス					0	岩見沢市立 清園中学校 北海道 北海道			
			嶺岸 洸 齋藤 晃輝	2	21 21	- -	3 7			0	深田 幹人 納谷 駿介	
			シングルス									
			日野 滋斗	2	21 21	- -	18 17			0	橋本 瞬次郎	
ダブルス					深田 崇人 竹俣 光聖							
16 (二回戦)	埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	ダブルス					0	大津市立 日吉中学校 滋賀県 近畿			
			塚本 翔太 川端 直人	2	21 21	- -	11 6			0	塚本 光平 嶋川 景斗	
			シングルス									
			日光 駿	2	21 21	- -	10 16			0	三宅 将平	
ダブルス					永谷 拓海 本庄 佑基							

平成26年度 第44回全国中学校バドミントン大会

〈男子団体3回戦結果詳細〉

番号	学校名	スコア	学校名
17 (三回戦)	青森市立 浪岡中学校 青森県 東北	ダブルス 山内 恭弥 2 21-14 有馬 亮嗣 0 21-18	宮崎市立 生目南中学校 宮崎県 九州
		シングルス 後藤 海斗 2 21-18 森田 新太郎 0 21-22	
		ダブルス 家壽多 慶太 奈良岡 功大	
		小川 翔梧 小川 航汰	
18 (三回戦)	勝山市立 勝山南部中学校 福井県 北信越	ダブルス 南茂 蓮太 2 21-10 清水 康士郎 0 21-18	茗溪学園中学校 茨城県 関東
		シングルス 大林 拓真 2 21-5 新宅 雄 0 21-12	
		ダブルス 斎藤 楓 0 12-21 上田 健志郎 1 打ち切り	
		杉山 潤 櫻井 雄介	
19 (三回戦)	猪苗代町立 猪苗代中学校 福島県 東北	ダブルス 金子 真大 2 21-12 久保田 友之祐 0 21-15	淑徳巣鴨中学校 東京都 関東
		シングルス 高上 麟龍 2 21-15 佐々木 拓也 0 21-13	
		ダブルス 筑後 恵太 1 21-12 山田 尚輝 1 打ち切り	
		田中 啓一郎 上田 竜也	
20 (三回戦)	埼玉栄中学校 埼玉県 関東	ダブルス 中山 裕貴 2 21-13 緑川 大輝 1 21-20	聖ウルスラ学院 英智中学校 宮城県 東北
		シングルス 鈴木 雄治 2 21-18 日野 滋斗 0 21-16	
		ダブルス 塚本 翔太 川端 直人	
		寺島 颯大 佐藤 孝伸	

〈男子団体準決勝結果詳細〉

番号	学校名	スコア	学校名
21 (準決勝)	青森市立 浪岡中学校 青森県 東北	ダブルス 山内 恭弥 2 21-17 有馬 亮嗣 0 21-15	勝山市立 勝山南部中学校 福井県 北信越
		シングルス 奈良岡 功大 2 21-13 大林 拓真 0 21-22	
		ダブルス 後藤 海斗 0 11-8 家壽多 慶太 0 打ち切り	
		斎藤 楓 上田 健志郎	
22 (準決勝)	猪苗代町立 猪苗代中学校 福島県 東北	ダブルス 金子 真大 2 21-17 久保田 友之祐 0 21-11	埼玉栄中学校 埼玉県 関東
		シングルス 筑後 恵太 2 21-20 日光 駿 0 21-11	
		ダブルス 高上 麟龍 1 21-15 山田 尚輝 0 打ち切り	
		鈴木 雄治 中山 裕貴	

〈男子団体決勝結果詳細〉

番号	学校名	スコア	学校名
23 (決勝)	青森市立 浪岡中学校 青森県 東北	ダブルス 後藤 海斗 0 17-21 家壽多 慶太 2 21-21	猪苗代町立 猪苗代中学校 福島県 東北
		シングルス 奈良岡 功大 2 21-15 高上 麟龍 0 21-11	
		ダブルス 山内 恭弥 2 23-21 有馬 亮嗣 1 21-17	
		筑後 恵太 山田 尚輝	

平成26年度 第44回全国中学校バドミントン大会

〈女子団体1回戦結果詳細〉

番号	学校名	スコア										学校名
1 (一回戦)	高松市立 玉藻中学校 香川県 四国	2	ダブルス					0	長岡京市立 長岡第三中学校 京都府 近畿			
			植松 美結 能村 亜美	2	17-21 21-17	1	高田 葉々子 増永 美夢					
			シングルス									
			多田 羅子 万槻子	2	21-15 21-17	0	菅生 千尋					
2 (一回戦)	蓮田市立 蓮田南中学校 埼玉県 関東	2	ダブルス					0	森町立 砂原中学校 北海道 北海道			
			新田 桃子 小泉 理紗子	2	18-21 21-16 21-10	1	太田 葉月 小島 綾乃					
			シングルス									
			醍醐 和佳	2	21-7 21-6	0	伊藤 美衣奈					
3 (一回戦)	柏崎市立 東中学校 新潟県 北信越	2	ダブルス					0	花巻市立 矢沢中学校 岩手県 東北			
			大野 みる 佐藤 美花	2	21-17 21-17	0	佐々木 良幸 市原 杏奈					
			シングルス									
			水島 奏美	2	18-21 21-16 21-8	1	中島 陽菜					
4 (一回戦)	九州国際大学 付属中学校 福岡県 九州	2	ダブルス					1	各務原市立 那加中学校 岐阜県 東海			
			松岡 真那 中村 麻誉	2	20-22 21-12	1	奥村 真以 奥村 友梨					
			シングルス									
			平野 紗妃	1	16-21 18-21	2	犬飼 萌々香					
5 (一回戦)	高松市立 香川第一中学校 香川県 四国	2	ダブルス					0	小山市立 小山第二中学校 栃木県 関東			
			新井田 楓 荻澤 美羽	2	21-13 22-20	0	榎谷 志穂 土屋 芽依美					
			シングルス									
			吉川 真白	2	21-3 21-4	0	梅澤 かりん					
6 (一回戦)	葛城市立 白鳳中学校 奈良県 近畿	2	ダブルス					0	佐賀市立 大和中学校 佐賀県 九州			
			神山 青生 新内 智子	2	21-18 21-17	1	光岡 涼風 村岡 遥					
			シングルス									
			宮本 有紗	2	21-5 21-11	0	中島 彩花					
7 (一回戦)	日本橋 女学館中学校 東京都 関東	2	ダブルス					1	大垣市立 北中学校 岐阜県 東海			
			田中 月菜 宮 滯里	0	12-21 11-21	2	北島 結菜 有尾 明香					
			シングルス									
			大上 月佳	2	21-7 21-3	0	大平 歩実					
8 (一回戦)	山陽女子中学校 岡山県 中国	2	ダブルス					1	新居浜市立 中萩中学校 愛媛県 四国			
			仁後 江里子 内藤 舞	0	18-21 11-21	2	金子 文香 西岡 奈都					
			シングルス									
			山部 日菜子	2	21-12 21-13	0	野口 結衣					
			ダブルス									
			森川 紗彩華 鎌田 彩羽	2	21-16 21-13	0	原田 のどか 永井 日南乃					

平成26年度 第44回全国中学校バドミントン大会

〈女子団体2回戦結果詳細〉

番号	学校名	スコア										学校名		
9 (二回戦)	猪苗代町立 猪苗代中学校 福島県 東北	2	ダブルス					0	高松市立 玉藻中学校 香川県 四国					
			水井 ひらり 福本 真恵七	2	21 -21	16 -18	0							吉田 彩夏 五郎丸 枝葉
			シングルス											
			高橋 明日香	2	21 -21	16 -10	0							多田羅 万槻子
10 (二回戦)	柳井市立 柳井中学校 山口県 中国	2	ダブルス					0	蓮田市立 蓮田南中学校 埼玉県 関東					
			折中 ミイユ 水津 優衣	2	21 -21	16 -12	0							秋庭 美羽 八角 実侑
			シングルス											
			岩永 鈴	2	21 -18 -21	16 -19	1							醍醐 和佳
11 (二回戦)	園田学園中学校 兵庫県 近畿	2	ダブルス					1	柏崎市立 東中学校 新潟県 北信越					
			笹沼 唯 小田 桃菜	1	19 -23	21 -16 -21	2							大野 みる 佐藤 美花
			シングルス											
			山下 陽子	2	21 -21	14 -12	0							水島 奏美
12 (二回戦)	埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	ダブルス					1	九州国際大学 付属中学校 福岡県 九州					
			秋元 未幸 林 樂	2	21 -21	9 -12	0							松岡 真那 中村 麻誉
			シングルス											
			吉田 瑠実	1	13 -21 -17	21 -9 -21	2							平野 紗妃
13 (二回戦)	聖ウルスラ学院 英智中学校 宮城県 東北	2	ダブルス					1	高松市立 香川第一中学校 香川県 四国					
			出戸 成美 長谷川 真子	0	16 -12	21 -21	2							新井田 楓 葦澤 美羽
			シングルス											
			鈴木 ゆうき	2	21 -18 -22	19 -21 -20	1							吉川 真白
14 (二回戦)	白山市立 美川中学校 石川県 北信越	2	ダブルス					0	葛城市立 白鳳中学校 奈良県 近畿					
			堀 琴乃 北 奈緒子	2	21 -21	13 -10	0							神山 青生 新内 智子
			シングルス											
			南部 一伽	2	21 -21	11 -17	0							宮本 有紗
15 (二回戦)	日本橋 女学館中学校 東京都 関東	2	ダブルス					1	旭川市立 東明中学校 北海道 北海道					
			田中 月菜 宮 潞里	0	15 -15	21 -21	2							布川 夢香 牧 英里奈
			シングルス											
			大上 月佳	2	13 -21 -21	21 -17 -14	1							中田 千沙妃
16 (二回戦)	八代市立 坂本中学校 熊本県 九州	2	ダブルス					1	山陽女子中学校 岡山県 中国					
			山口 貴子 堀口 真代	0	13 -16	21 -21	2							森川 紗彩華 山部 日菜子
			シングルス											
			森 沙耶	2	21 -21	11 -10	0							内藤 舞
			ダブルス											
			森本 暁音 石村 亜美	2	21 -21	10 -15	0							鎌田 彩羽 仁後 江里子

平成26年度 第44回全国中学校バドミントン大会

〈女子団体3回戦結果詳細〉

番号	学校名	スコア	学校名
17 (三回戦)	猪苗代町立 猪苗代中学校 福島県 東北	ダブルス 由良 なぎさ 2 21-12 21-17 0 折中 ミイコ 永井 瀬雰 21-17 0 水津 優衣	柳井市立 柳井中学校 山口県 中国
		シングルス 水井 ひらり 2 21-12 21-13 0 岩永 鈴	
		ダブルス 高橋 明日香 0 0 西村 礼美 福本 真恵七 0 0 浅井 和奏	
		ダブルス 秋元 未幸 2 22-21 20-9 0 笹沼 唯 林 楽 21-13 0 小田 桃菜	
18 (三回戦)	埼玉栄中学校 埼玉県 関東	シングルス 齋藤 夏 2 23-21 21-13 0 山下 陽子	園田学園中学校 兵庫県 近畿
		ダブルス 正田 捺実 0 0 古川 恵 桜井 彩貴 0 0 斉藤 さくら	
		ダブルス 長谷川 真子 1 14-21 17-21 2 堀 琴乃 出戸 成美 17-21 21-17 2 北 奈緒子	
		シングルス 鈴木 ゆうき 2 21-12 21-18 0 南部 一伽	
19 (三回戦)	聖ウルスラ学院 英智中学校 宮城県 東北	ダブルス 加藤 彩音 2 11-21 8-17 1 加藤 志乃 遠藤 育帆 21-17 0 北濱 英	白山市立 美川中学校 石川県 北信越
		ダブルス 山口 貴子 0 14-21 11-21 2 山口 萌 堀口 真代 21-21 0 森 優紗	
		シングルス 森 沙耶 2 21-10 21-12 0 大上 月佳	
		ダブルス 森本 暁音 2 21-14 21-18 0 田中 月葉 石村 亜美 21-18 0 宮 澤里	
20 (三回戦)	八代市立 坂本中学校 熊本県 九州	ダブルス 山口 貴子 0 14-21 11-21 2 山口 萌 堀口 真代 21-21 0 森 優紗	日本橋 女学館中学校 東京都 関東
		シングルス 森 沙耶 2 21-10 21-12 0 大上 月佳	
		ダブルス 森本 暁音 2 21-14 21-18 0 田中 月葉 石村 亜美 21-18 0 宮 澤里	
		ダブルス 森本 暁音 2 21-14 21-18 0 田中 月葉 石村 亜美 21-18 0 宮 澤里	

〈女子団体準決勝結果詳細〉

番号	学校名	スコア	学校名
21 (準決勝)	猪苗代町立 猪苗代中学校 福島県 東北	ダブルス 由良 なぎさ 2 12-21 17-21 1 秋元 未幸 永井 瀬雰 17-21 0 林 楽	埼玉栄中学校 埼玉県 関東
		シングルス 水井 ひらり 2 21-13 21-24 0 吉田 瑠実	
		ダブルス 高橋 明日香 0 6-21 9-21 0 正田 捺実 福本 真恵七 0 21-17 21-17 0 齋藤 夏	
		ダブルス 山口 貴子 2 21-16 21-17 1 出戸 成美 堀口 真代 17-21 21-17 1 長谷川 真子	
22 (準決勝)	八代市立 坂本中学校 熊本県 九州	シングルス 森 沙耶 2 26-21 24-17 0 鈴木 ゆうき	聖ウルスラ学院 英智中学校 宮城県 東北
		ダブルス 森本 暁音 0 8-21 4-21 0 加藤 彩音 石村 亜美 0 21-17 21-17 0 遠藤 育帆	
		ダブルス 山口 貴子 2 21-16 21-17 1 出戸 成美 堀口 真代 17-21 21-17 1 長谷川 真子	
		シングルス 森 沙耶 2 26-21 24-17 0 鈴木 ゆうき	

〈女子団体決勝結果詳細〉

番号	学校名	スコア	学校名
23 (決勝)	猪苗代町立 猪苗代中学校 福島県 東北	ダブルス 水井 ひらり 2 21-12 21-16 0 山口 貴子 福本 真恵七 21-17 0 堀口 真代	八代市立 坂本中学校 熊本県 九州
		シングルス 高橋 明日香 2 21-12 21-19 0 森 沙耶	
		ダブルス 由良 なぎさ 1 21-13 21-21 0 森本 暁音 永井 瀬雰 17-21 0 石村 亜美	
		ダブルス 由良 なぎさ 1 21-13 21-21 0 森本 暁音 永井 瀬雰 17-21 0 石村 亜美	

平成26年度 第44回全国中学校バドミントン大会

男子シングルス

<1回戦>

番号	選手名	スコア				選手名
1	小川 涼真 陸別町立陸別中学校 北海道 北海道	2	21 - 17 21 - 16	0		東 亮太 松山市立雄新中学校 愛媛県 四国
2	道下 凌我 高岡市立高岡西部中学校 富山県 北信越	2	21 - 15 21 - 17	0		本巢 智央 宇都宮市立鬼怒中学校 栃木県 関東
3	小本 大佑 熊本市立北部中学校 熊本県 九州	2	21 - 9 21 - 14	0		丹波 哲男 加古川市立平岡中学校 兵庫県 近畿
4	田村 翔 青森山田中学校 青森県 東北	2	21 - 16 21 - 13	0		永井 蛭 松山市立津田中学校 愛媛県 四国

<2回戦>

番号	選手名	スコア				選手名
5	鈴木 雄治 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 19 21 - 7	0		小川 涼真 陸別町立陸別中学校 北海道 北海道
6	中島 圭寿 北九州市立神田中学校 福岡県 九州	2	23 - 21 21 - 9	0		川本 虎之介 大阪市立加美南中学校 大阪府 近畿
7	村瀬 康之介 春日井市立岩成台中学校 愛知県 東海	2	21 - 15 21 - 15	0		高橋 玄 長岡市立越路中学校 新潟県 北信越
8	吉田 昇永 青森山田中学校 青森県 東北	2	21 - 11 21 - 10	0		長友 壮志 柳井市立柳井中学校 山口県 中国
9	渡部 昌太 東温市立重信中学校 愛媛県 四国	2	21 - 18 21 - 13	0		谷口 侑弥 舞鶴市立城南中学校 京都府 近畿
10	田中 湧士 菊池市立菊池南中学校 熊本県 九州	2	19 - 21 21 - 17 21 - 12	1		杉山 潤 茗溪学園中学校 茨城県 関東
11	橋本 瞬次郎 岩見沢市立清園中学校 北海道 北海道	2	21 - 19 14 - 21 21 - 12	1		大西 魁 伊勢市立小俣中学校 三重県 東海
12	筑後 恵太 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 11 21 - 14	0		道下 凌我 高岡市立高岡西部中学校 富山県 北信越
13	奈良岡 功大 青森市立浪岡中学校 青森県 東北	2	21 - 14 21 - 18	0		小本 大佑 熊本市立北部中学校 熊本県 九州
14	楠 航介 松山市立勝山中学校 愛媛県 四国	2	11 - 21 22 - 20 23 - 21	1		一井 亮太 備前市立備前中学校 岡山県 中国
15	池田 佑介 芽室町立芽室中学校 北海道 北海道	2	21 - 17 21 - 10	0		中林 寛貴 名古屋経済大学市邨中学校 愛知県 東海
16	大林 拓真 勝山市立勝山南部中学校 福井県 北信越	2	21 - 9 21 - 12	0		須永 匠 桐生市立相生中学校 群馬県 関東
17	村本 竜馬 時津町立時津中学校 長崎県 九州	2	21 - 11 21 - 13	0		江越 恵伍 小平市立小平第二中学校 東京都 関東
18	吉本 光太郎 松山市立雄新中学校 愛媛県 四国	2	21 - 15 21 - 19	0		澄川 考志 広島市立牛田中学校 広島県 中国
19	加藤 太基 豊浦町立豊浦中学校 北海道 北海道	2	21 - 16 21 - 19	0		友金 利玖斗 神戸市立丸山中学校 兵庫県 近畿
20	日光 駿 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 8 21 - 16	0		田村 翔 青森山田中学校 青森県 東北

男子シングルス

〈3回戦〉

番号	選手名	スコア				選手名
21	鈴木 雄治 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 16 21 - 11	0		中島 圭寿 北九州市立沖田中学校 福岡県 九州
22	吉田 昇永 青森山田中学校 青森県 東北	2	21 - 14 21 - 8	0		村瀬 康之介 春日井市立岩成台中学校 愛知県 東海
23	田中 湧士 菊池市立菊池南中学校 熊本県 九州	2	21 - 19 21 - 12	0		渡部 昌太 東温市立重信中学校 愛媛県 四国
24	筑後 恵太 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 16 21 - 13	0		橋本 瞬次郎 岩見沢市立清園中学校 北海道 北海道
25	奈良岡 功大 青森市立浪岡中学校 青森県 東北	2	21 - 6 21 - 6	0		楠 航介 松山市立勝山中学校 愛媛県 四国
26	大林 拓真 勝山市立勝山南部中学校 福井県 北信越	2	21 - 13 21 - 11	0		池田 佑介 芽室町立芽室中学校 北海道 北海道
27	吉本 光太郎 松山市立雄新中学校 愛媛県 四国	2	15 - 21 21 - 16 21 - 19	1		村本 竜馬 時津町立時津中学校 長崎県 九州
28	日光 駿 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 19 21 - 9	0		加藤 太基 豊浦町立豊浦中学校 北海道 北海道

〈準々決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
29	吉田 昇永 青森山田中学校 青森県 東北	2	21 - 15 21 - 14	0		鈴木 雄治 埼玉栄中学校 埼玉県 関東
30	筑後 恵太 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	19 - 21 21 - 18 21 - 17	1		田中 湧士 菊池市立菊池南中学校 熊本県 九州
31	奈良岡 功大 青森市立浪岡中学校 青森県 東北	2	21 - 18 21 - 18	0		大林 拓真 勝山市立勝山南部中学校 福井県 北信越
32	日光 駿 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 17 21 - 13	0		吉本 光太郎 松山市立雄新中学校 愛媛県 四国

〈準決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
33	吉田 昇永 青森山田中学校 青森県 東北	2	21 - 15 21 - 15	0		筑後 恵太 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北
34	奈良岡 功大 青森市立浪岡中学校 青森県 東北	2	21 - 12 21 - 11	0		日光 駿 埼玉栄中学校 埼玉県 関東

〈決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
35	奈良岡 功大 青森市立浪岡中学校 青森県 東北	2	21 - 17 21 - 12	0		吉田 昇永 青森山田中学校 青森県 東北

平成26年度 第44回全国中学校バドミントン大会

女子シングルス

〈1回戦〉

番号	選手名	スコア				選手名
1	山口 萌 日本橋女学館中学校 東京都 関東	2	21 - 13 21 - 11	0		村田 佳奈 高松市立勝賀中学校 香川県 四国
2	和島 百耀 塩竈市立第一中学校 宮城県 東北	2	22 - 20 19 - 21 21 - 19	1		十亀 加奈江 新居浜市立大生院中学校 愛媛県 四国
3	上杉 優里 新潟市立葛塚中学校 新潟県 北信越	2	21 - 14 21 - 17	0		高橋 沙弥 札幌市立柏丘中学校 北海道 北海道
4	巻口 実可 白井市立桜台中学校 千葉県 関東	2	21 - 15 21 - 15	0		木村 百伽 岐南町立岐南中学校 岐阜県 東海

〈2回戦〉

番号	選手名	スコア				選手名
5	高橋 明日香 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 18 21 - 19	0		山口 萌 日本橋女学館中学校 東京都 関東
6	本江 綾 砺波市立出町中学校 富山県 北信越	2	22 - 20 21 - 15	0		岡 未涼 熊本市立楠中学校 熊本県 九州
7	菊池 さやか 小樽市立銭函中学校 北海道 北海道	2	9 - 21 21 - 15 21 - 13	1		関矢 芽紅 伊勢市立小俣中学校 三重県 東海
8	善家 百合子 倉敷市立福田中学校 岡山県 中国	2	21 - 15 8 - 21 21 - 11	1		明地 七海 大阪市立瓜破西中学校 大阪府 近畿
9	中田 千沙妃 旭川市立東明中学校 北海道 北海道	2	21 - 18 21 - 16	0		近藤 七帆 新居浜市立川東中学校 愛媛県 四国
10	森 沙耶 八代市立坂本中学校 熊本県 九州	2	21 - 11 21 - 15	0		佐川 智香 石岡市立石岡中学校 茨城県 関東
11	岩永 鈴 柳井市立柳井中学校 山口県 中国	2	21 - 12 21 - 7	0		小野 美来 大阪市立瓜破西中学校 大阪府 近畿
12	吉田 瑠実 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 15 11 - 21 21 - 15	1		和島 百耀 塩竈市立第一中学校 宮城県 東北
13	齋藤 夏 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	24 - 22 15 - 21 21 - 17	1		上杉 優里 新潟市立葛塚中学校 新潟県 北信越
14	水井 ひらり 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 9 21 - 17	0		横山 滯 松山市立東中学校 愛媛県 四国
15	海老澤 花 石岡市立石岡中学校 茨城県 関東	2	21 - 17 21 - 17	0		中村 瑠菜 大分市立大東中学校 大分県 九州
16	犬飼 萌々香 各務原市立那加中学校 岐阜県 東海	2	21 - 18 21 - 18	0		徳岡 美礼 和泉市立北池田中学校 大阪府 近畿
17	吉川 真白 高松市立香川第一中学校 香川県 四国	2	21 - 15 21 - 10	0		小中 桃子 旭川市立春光台中学校 北海道 北海道
18	鈴木 ゆうき 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北	2	21 - 12 18 - 21 21 - 15	1		平野 紗妃 九州国際大学付属中学校 福岡県 九州
19	森川 紗彩華 山陽女子中学校 岡山県 中国	2	13 - 21 21 - 8 21 - 13	1		山下 陽子 園田学園中学校 兵庫県 近畿
20	巻口 実可 白井市立桜台中学校 千葉県 関東	2	15 - 21 21 - 15 21 - 14	1		南部 一伽 白山市立美川中学校 石川県 北信越

女子シングルス

〈3回戦〉

番号	選手名	スコア				選手名
21	高橋 明日香 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 14 21 - 14	0		本江 綾 砺波市立出町中学校 富山県 北信越
22	善家 百合子 倉敷市立福田中学校 岡山県 中国	2	21 - 12 21 - 18	0		菊池 さやか 小樽市立銭函中学校 北海道 北海道
23	森 沙耶 八代市立坂本中学校 熊本県 九州	2	21 - 15 21 - 8	0		中田 千沙妃 旭川市立東明中学校 北海道 北海道
24	岩永 鈴 柳井市立柳井中学校 山口県 中国	2	21 - 8 16 - 21 21 - 18	1		吉田 瑠実 埼玉栄中学校 埼玉県 関東
25	水井 ひらり 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 8 16 - 21 22 - 20	1		齋藤 夏 埼玉栄中学校 埼玉県 関東
26	犬飼 萌々香 各務原市立那加中学校 岐阜県 東海	2	22 - 20 21 - 18	0		海老澤 花 石岡市立石岡中学校 茨城県 関東
27	鈴木 ゆうき 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北	2	21 - 5 10 - 21 21 - 13	1		吉川 真白 高松市立香川第一中学校 香川県 四国
28	森川 紗彩華 山陽女子中学校 岡山県 中国	2	16 - 21 21 - 13 21 - 17	1		巻口 実可 白井市立桜台中学校 千葉県 関東

〈準々決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
29	高橋 明日香 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	23 - 21 21 - 8	0		善家 百合子 倉敷市立福田中学校 岡山県 中国
30	岩永 鈴 柳井市立柳井中学校 山口県 中国	2	21 - 18 21 - 17	0		森 沙耶 八代市立坂本中学校 熊本県 九州
31	水井 ひらり 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 13 21 - 9	0		犬飼 萌々香 各務原市立那加中学校 岐阜県 東海
32	鈴木 ゆうき 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北	2	21 - 11 16 - 21 21 - 12	1		森川 紗彩華 山陽女子中学校 岡山県 中国

〈準決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
33	高橋 明日香 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 19 21 - 16	0		岩永 鈴 柳井市立柳井中学校 山口県 中国
34	水井 ひらり 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 17 21 - 19	0		鈴木 ゆうき 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北

〈決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
35	高橋 明日香 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 12 21 - 17	0		水井 ひらり 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北

平成26年度 第44回全国中学校バドミントン大会

男子ダブルス

〈1回戦〉

番号	選手名	スコア	選手名
1	重松 隼人・名葉 智信 淑徳巣鴨中学校 東京都 関東	2 21 - 15 18 - 21 21 - 16	1 諸田 懐音・大橋 康平 大垣市立北中学校 岐阜県 東海
2	星加 湧哉・村上 諒 新居浜市立川東中学校 愛媛県 四国	2 21 - 17 21 - 16	0 武田 駿希・泉 湧登 小樽市立朝里中学校 北海道 北海道
3	辻 健太郎・藤川 歩武 柳井市立柳井中学校 山口県 中国	2 18 - 21 21 - 14 21 - 16	1 松井 尚輝・平野 大輔 桐生市立相生中学校 群馬県 関東
4	後藤 海斗・家壽多慶太 青森市立浪岡中学校 青森県 東北	2 21 - 10 21 - 16	0 藤井 大樹・西林 政樹 橿原市立大成中学校 奈良県 近畿

〈2回戦〉

番号	選手名	スコア	選手名
5	金子 真大・久保田友之祐 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2 21 - 8 21 - 14	0 重松 隼人・名葉 智信 淑徳巣鴨中学校 東京都 関東
6	溝上 智明・古賀健太郎 佐賀県立武雄青陵中学校 佐賀県 九州	2 21 - 18 15 - 21 21 - 18	1 加藤 黎・伊藤 吏永 金沢市立高岡中学校 石川県 北信越
7	竹俣 光聖・深田 崇人 岩見沢市立清園中学校 北海道 北海道	2 21 - 17 21 - 13	0 永恵 康資・今泉 智哉 加古川市立平岡南中学校 兵庫県 近畿
8	柴田 陽登・福嶋 壮太 小平市立小平第二中学校 東京都 関東	2 21 - 13 21 - 14	0 原田 峻佑・曾我部祥多 新居浜市立中秋中学校 愛媛県 四国
9	江藤 稜太・江藤 佑太 熊本市立東野中学校 熊本県 九州	2 21 - 18 15 - 21 21 - 16	1 竹林 雄・國分 俊秀 大府市立大府南中学校 愛知県 東海
10	川本 祐希・石橋 宏海 広島市立亀崎中学校 広島県 中国	2 15 - 21 21 - 18 24 - 22	1 伏見 和真・永岑 航 高松市立古高松中学校 香川県 四国
11	塚本 翔太・川端 直人 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2 21 - 10 21 - 9	0 橘田 拓弥・永井 武蔵 加古川市立平岡中学校 兵庫県 近畿
12	嶺岸 洸・齋藤 晃輝 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北	2 21 - 6 21 - 11	0 星加 湧哉・村上 諒 新居浜市立川東中学校 愛媛県 四国
13	山内 恭弥・有馬 堯嗣 青森市立浪岡中学校 青森県 東北	2 21 - 18 21 - 8	0 辻 健太郎・藤川 歩武 柳井市立柳井中学校 山口県 中国
14	弘瀬 公貴・片岡 成 高知県立高知南中学校 高知県 四国	2 21 - 17 9 - 21 21 - 17	1 清水 康士郎・南茂 蓮太 勝山市立勝山南部中学校 福井県 北信越
15	深谷 祐太・本田 晃太 石岡市立石岡中学校 茨城県 関東	2 21 - 13 21 - 8	0 和田 季・浅井雅沙矢 別府市立北部中学校 大分県 九州
16	川端健太郎・山中 一新 大東市立南郷中学校 大阪府 近畿	2 21 - 12 22 - 20	0 牧 聖司・長谷川 慧 旭川市立東明中学校 北海道 北海道
17	齊藤 大樹・宮本 章吾 壮瞥町立壮瞥中学校 北海道 北海道	2 21 - 12 21 - 15	0 出口 啓悟・鈴木 正宗 伊勢市立倉田山中学校 三重県 東海
18	木田 能大・新家 陽介 上市町立上市中学校 富山県 北信越	2 21 - 8 21 - 17	0 福井 亮介・西原 弘崇 倉吉市立河北中学校 鳥取県 中国
19	中山 裕貴・緑川 大輝 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2 21 - 17 21 - 10	0 黒川 秀平・甲斐聡一郎 東温市立川内中学校 愛媛県 四国
20	後藤 海斗・家壽多慶太 青森市立浪岡中学校 青森県 東北	2 15 - 21 21 - 14 21 - 13	1 岩切 樹・樋口 太一 宮崎市立生目南中学校 宮崎県 九州

男子ダブルス

〈3回戦〉

番号	選手名	スコア				選手名
21	金子 真大・久保田友之祐 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 9 21 - 13	0		溝上 智明・古賀健太郎 佐賀県立武雄青陵中学校 佐賀県 九州
22	柴田 陽登・福嶋 壮太 小平市立小平第二中学校 東京都 関東	2	21 - 18 21 - 15	0		竹俣 光聖・深田 崇人 岩見沢市立清園中学校 北海道 北海道
23	江藤 稜太・江藤 佑太 熊本市立東野中学校 熊本県 九州	2	21 - 18 21 - 8	0		川本 祐希・石橋 宏海 広島市立亀崎中学校 広島県 中国
24	嶺岸 洸・齋藤 晃輝 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北	2	21 - 16 21 - 19	0		塚本 翔太・川端 直人 埼玉栄中学校 埼玉県 関東
25	山内 恭弥・有馬 亮嗣 青森市立浪岡中学校 青森県 東北	2	21 - 10 21 - 12	0		弘瀬 公貴・片岡 成 高知県立高知南中学校 高知県 四国
26	深谷 祐太・本田 晃太 石岡市立石岡中学校 茨城県 関東	2	21 - 14 17 - 21 21 - 15	1		川端健太郎・山中 一新 大東市立南郷中学校 大阪府 近畿
27	齊藤 大樹・宮本 章吾 壮瞥町立壮瞥中学校 北海道 北海道	2	21 - 9 21 - 11	0		木田 能大・新家 陽介 上市町立上市中学校 富山県 北信越
28	中山 裕貴・緑川 大輝 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 18 21 - 15	0		後藤 海斗・家壽多慶太 青森市立浪岡中学校 青森県 東北

〈準々決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
29	金子 真大・久保田友之祐 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 10 21 - 19	0		柴田 陽登・福嶋 壮太 小平市立小平第二中学校 東京都 関東
30	嶺岸 洸・齋藤 晃輝 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北	2	21 - 11 21 - 14	0		江藤 稜太・江藤 佑太 熊本市立東野中学校 熊本県 九州
31	山内 恭弥・有馬 亮嗣 青森市立浪岡中学校 青森県 東北	2	23 - 21 21 - 17	0		深谷 祐太・本田 晃太 石岡市立石岡中学校 茨城県 関東
32	中山 裕貴・緑川 大輝 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 16 21 - 19	0		齊藤 大樹・宮本 章吾 壮瞥町立壮瞥中学校 北海道 北海道

〈準決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
33	金子 真大・久保田友之祐 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 18 21 - 8	0		嶺岸 洸・齋藤 晃輝 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北
34	中山 裕貴・緑川 大輝 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	14 - 21 21 - 18 21 - 18	1		山内 恭弥・有馬 亮嗣 青森市立浪岡中学校 青森県 東北

〈決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
35	金子 真大・久保田友之祐 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 19 21 - 12	0		中山 裕貴・緑川 大輝 埼玉栄中学校 埼玉県 関東

平成26年度 第44回全国中学校バドミントン大会

女子ダブルス

〈1回戦〉

番号	選手名	スコア	選手名
1	布川 夢香・牧 英里奈 旭川市立東明中学校 北海道 北海道	2 21 - 16 23 - 21 0	小林 茜梨・田中 芽依 埼玉栄中学校 埼玉県 関東
2	山口 貴子・堀口 真代 八代市立坂本中学校 熊本県 九州	2 16 - 21 21 - 19 1 21 - 14	清家菜々子・清家萌々香 西条市立西条北中学校 愛媛県 四国
3	植村 理央・藤井 史織 四條畷学園中学校 大阪府 近畿	2 21 - 8 15 - 21 1 22 - 20	小堤 榛菜・町田 華梨 つくば市立竹園東中学校 茨城県 関東
4	長谷川真子・出戸 成美 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北	2 21 - 14 21 - 19 0	佐々木奈菜・福井 純伶 南幌町立南幌中学校 北海道 北海道

〈2回戦〉

番号	選手名	スコア	選手名
5	由良 なぎさ・永井 瀬霧 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2 21 - 10 21 - 17 0	布川 夢香・牧 英里奈 旭川市立東明中学校 北海道 北海道
6	原田 のどか・永井日南乃 新居浜市立中萩中学校 愛媛県 四国	2 21 - 17 21 - 18 0	田村 爽華・宗近奈々美 広島市立城南中学校 広島県 中国
7	正田 捺実・桜井 彩貴 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2 27 - 25 22 - 20 0	古川 恵・斉藤 さくら 園田学園中学校 兵庫県 近畿
8	齋藤 柚・山本 綺音 皇學館中学校 三重県 東海	2 21 - 16 15 - 21 1 21 - 16	松岡 真那・中村 麻誉 九州国際大学付属中学校 福岡県 九州
9	大野 みる・佐藤 美花 柏崎市立東中学校 新潟県 北信越	2 21 - 14 16 - 21 1 21 - 18	佐藤 千紗・高橋 由羽 北星学園女子中学校 北海道 北海道
10	池田亜沙美・斎藤 未奈 淑徳巣鴨中学校 東京都 関東	2 21 - 13 21 - 17 0	岡田 彩衣・田邊 梨子 徳島市徳島中学校 徳島県 四国
11	加藤 彩音・遠藤 育帆 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北	2 21 - 14 21 - 9 0	福島 葵・中嶋 優花 大津市立日吉中学校 滋賀県 近畿
12	折中 ミユ・水津 優衣 柳井市立柳井中学校 山口県 中国	2 19 - 21 21 - 17 1 21 - 19	山口 貴子・堀口 真代 八代市立坂本中学校 熊本県 九州
13	植村 理央・藤井 史織 四條畷学園中学校 大阪府 近畿	2 21 - 19 23 - 21 0	齋藤 真琴・福本真恵七 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北
14	平尾 実唯・渡瀬 千尋 旭川市立東明中学校 北海道 北海道	2 21 - 15 21 - 16 0	北島 結菜・有尾 明香 大垣市立北中学校 岐阜県 東海
15	谷本 海梨・西村 南海 八代市立鏡中学校 熊本県 九州	2 12 - 21 21 - 15 1 21 - 16	濱野 夏葵・島倉 唯 石岡市立石岡中学校 茨城県 関東
16	新井田 楓・蜷澤 美羽 高松市立香川第一中学校 香川県 四国	2 20 - 22 21 - 9 1 21 - 13	木村菜梨奈・中村 風月 福井工業大学附属福井中学校 福井県 北信越
17	石田 有彩・高木 梨名 富山市立和合中学校 富山県 北信越	2 21 - 11 11 - 21 1 21 - 19	石村 亜美・森本 暁音 八代市立坂本中学校 熊本県 九州
18	今滝 空・藤原 奈央 倉敷市立福田中学校 岡山県 中国	2 21 - 11 21 - 13 0	清田 芽生・岸本 ひなた 名古屋経済大学市邨中学校 愛知県 東海
19	笹沼 唯・小田 桃菜 園田学園中学校 兵庫県 近畿	2 21 - 13 17 - 21 1 21 - 13	二宮安優花・二宮南菜花 西予市立宇和中学校 愛媛県 四国
20	秋元 未幸・林 樂 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2 21 - 18 21 - 11 0	長谷川真子・出戸 成美 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北

女子ダブルス

〈3回戦〉

番号	選手名	スコア				選手名
21	由良 なぎさ・永井 瀬霧 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 10 21 - 16	0		原田 のどか・永井日南乃 新居浜市立中萩中学校 愛媛県 四国
22	正田 捺実・桜井 彩貴 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 12 22 - 20	0		齋藤 柚・山本 綺音 皇學館中学校 三重県 東海
23	大野 みる・佐藤 美花 柏崎市立東中学校 新潟県 北信越	2	21 - 17 21 - 11	0		池田亜沙美・斎藤 未奈 淑徳巣鴨中学校 東京都 関東
24	折中 ミユ・水津 優衣 柳井市立柳井中学校 山口県 中国	2	21 - 10 21 - 10	0		加藤 彩音・遠藤 育帆 聖ウルスラ学院英智中学校 宮城県 東北
25	平尾 実唯・渡瀬 千尋 旭川市立東明中学校 北海道 北海道	2	21 - 16 21 - 16	0		植村 理央・藤井 史織 四條畷学園中学校 大阪府 近畿
26	新井田 楓・葦澤 美羽 高松市立香川第一中学校 香川県 四国	2	21 - 12 21 - 7	0		谷本 海梨・西村 南海 八代市立鏡中学校 熊本県 九州
27	石田 有彩・高木 梨名 富山市立和合中学校 富山県 北信越	2	21 - 12 21 - 17	0		今瀧 空・藤原 奈央 倉敷市立福田中学校 岡山県 中国
28	秋元 未幸・林 楽 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 12 21 - 10	0		笹沼 唯・小田 桃菜 園田学園中学校 兵庫県 近畿

〈準々決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
29	由良 なぎさ・永井 瀬霧 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 11 24 - 22	0		正田 捺実・桜井 彩貴 埼玉栄中学校 埼玉県 関東
30	折中 ミユ・水津 優衣 柳井市立柳井中学校 山口県 中国	2	18 - 21 22 - 20 21 - 17	1		大野 みる・佐藤 美花 柏崎市立東中学校 新潟県 北信越
31	新井田 楓・葦澤 美羽 高松市立香川第一中学校 香川県 四国	2	21 - 12 21 - 17	0		平尾 実唯・渡瀬 千尋 旭川市立東明中学校 北海道 北海道
32	秋元 未幸・林 楽 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 8 21 - 12	0		石田 有彩・高木 梨名 富山市立和合中学校 富山県 北信越

〈準決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
33	由良 なぎさ・永井 瀬霧 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 9 21 - 14	0		折中 ミユ・水津 優衣 柳井市立柳井中学校 山口県 中国
34	秋元 未幸・林 楽 埼玉栄中学校 埼玉県 関東	2	21 - 17 21 - 13	0		新井田 楓・葦澤 美羽 高松市立香川第一中学校 香川県 四国

〈決勝〉

番号	選手名	スコア				選手名
35	由良 なぎさ・永井 瀬霧 猪苗代町立猪苗代中学校 福島県 東北	2	21 - 16 17 - 21 21 - 15	1		秋元 未幸・林 楽 埼玉栄中学校 埼玉県 関東

全国中学生体育大会（愛媛県・西条市）を終えて

事務局長 坂本 利夫

3年前に、愛媛県西条市で全国中学生体育大会(バドミントン競技)を実施することが決定したと聞かされたとき、大きな驚きと不安に襲われました。何しろ、西条市で正式にバドミントン部のある中学校は1校だけでしたから。「何でも、わざわざ西条市でバドミントンを・・・」

この想いを持っていたのは、私だけではなかったと思います。月日が流れて1年前になり準備委員会が立ち上がりました。総務部・会場部・式典部等、8つの部に分かれてスタートしましたが、競技部・審判部以外の部長さんは、すべて西条市体育連盟の先生方で、バドミントンとは縁もゆかりもなく陸上や野球・バレーボール・バスケットボール等を専門とする方々でした。きっと皆さんも同じ想いを持たれていたのではないのでしょうか。

しかし、一昨年の船橋大会と昨年の富士宮大会の視察を経て、やるべきことが少しずつ明確になってきてからの各部長さん方の動きは素晴らしいものでした。今年になって実行委員会が立ち上げられてからは、各々が学校業務に携わりながら週毎の話し合いを重ね、プレ大会や四国大会の反省を糧とし、改善を加えて本番に備えました。本番はわずか4日間の会期ですが、その間に西条市内の8割近くの先生方が、何らかの形で関わっていただけたと聞いています。

開会式当日、西条市総合文化会館の開会セレモニーで、市内中学生の素晴らしい合唱が聞こえてきたときには涙が溢れそうになりました。いざ試合が始まると、連日の熱戦に見入るとともに運営面にも気の抜けない日々でした。でも、そこでも大勢の先生方に支えていただきました。

そして迎えた閉会式。すべての日程が滞りなく終了した時には、ホッとするとともに周りの方々への感謝の気持ちでいっぱいでした。大会成功の喜びとともに、携わっていただいたすべての方にこの場を借りてお礼させていただきたいと思います。「本当にありがとうございました。」

全中大会を終えて

総務部長 青野 保樹

全国中学校体育大会バドミントン大会が愛媛県西条市で開催されることが決まり、約1年間は何も出来ないうまま過ぎていきました。何も分からないまま千葉県船橋市大会から視察を始めました。2人での視察でしたが、その時の感想は、果たして西条市で出来るのだろうか？という疑問しかありませんでした。

西条市はバドミントンが決して盛んな地域ではなく、市内10中学校のうち部活動があるのは1校しかありません。専門家もほとんどいなく、ルール等を覚えるところからスタートしました。

昨年の開催市静岡県富士宮市へは、組織づくりをして役割をはっきりと決め視察に臨みました。各自課題をもって視察を行い、富士宮の先生方にはいろいろと教えていただき、企画・運営の大変さを痛感するとともに、役員の入念な準備と円滑な運営によって開催されていることが理解できました。

やがて準備委員会を立ち上げ、少しずつやるべきことが明確になってきました。今年度になって準備委員会が実行委員会へと変わり、松山や西条で毎週事務局会を開き話し合いを重ね、プレ大会を開催しました。プレ大会開催という経験が、本大会を迎える準備において、大きな力となりました。

8月16日にコートマットを張り、バドミントン会場らしくなった西条市総合体育館を見て、ほっとしたことを覚えています。実際、開会式が始まり熱戦が繰り広げられ、生徒役員や役員の先生方の献身的な活動ぶりに感心するばかりでした。

大会を終え、感じることは関係してくれたすべての方々への「感謝」という思いしかありません。バドミントンの専門家の少ない西条市で開催できたことに自信と誇りをもって今後の教育活動にいかしていきたいと思います。

この機会を与えてくれ、いろいろな方々といい出会いができたことに感謝したいと思います。

全中バドミントン大会を終えて

式典部長 浅井 二郎

式典部は、開会式および閉会式を担当しました。本格的に準備を始めたのが、昨年、富士宮市の大会を視察してからでした。全中バドミントン大会の伝統を大切に、歓迎の気持ちを常に忘れないようにし、自分たちのできることを全力でやれるように考え、準備を進めました。

開会式前のセレモニーは、地元中学校の文化的活動を披露するという目的で全国大会にたびたび出場している西条北中学校の合唱部にお願いしました。西条祭りでだんじりをかき夫たちがかつぎながら歌う地域の唄を太鼓を使い力強く歌って開会式を盛り上げることができました。開会式、閉会式の進行は、西条市で唯一放送部がある丹原東中学校にお願いしました。明瞭な声でメリハリのついた進行をし、式がとても引き締まったように感じました。プラカードを持つ係やホール係を西条北中学校と西条南中学校にお願いし、きびきびした動きで式を行うことができました。

裏方には、西条市の先生方約30名に入っていただき、式場の準備・運営・片付け、賞状の制作、表彰物の確認・準備など、献身的に活動していただきました。おかげをもちまして厳粛でスムーズな式を行うことができました。

本大会開催のために時間をかけご尽力くださった先生方、役員の中学生に心から感謝を申し上げます。

全中大会を終えて

会場部長 黒河 幸彦

バドミントンのことが何もわからず、昨年の富士宮市の視察から始まりました。どうにかなるだろうと思いつつも、西条市での全中大会の経験もなく、みんな初めてのことで不安ばかりでした。6月にリハーサル大会を実施したが、本大会との違いがかなりあり、不安なままでした。

会場担当として、全中大会に出場される皆様が全力で競技に取り組めるよう準備を進めてきました。練習会場・駐車場や当日の動きなど、どのようにすれば気持ちよく大会に参加できるかを考えました。毎週の会合でやらなければならないことを確認していくが、やればやるほど問題点が生じて行き詰まる、この繰り返しでした。開催1週間前は正直本当にきつかったです。コートマットの移動、運搬、コート張り、練習会場の準備など体力的にまいってきました。

本大会を無事に終えることができたのは、スタッフの方々がそれぞれの仕事内容を理解し、具体的に動けるようにアイデアを出してくれたからでしょう。かんかん照りの暑い日もあり、豪雨の日もあった駐車場係の方にはほんとにご苦勞様でした。また、蒸し暑い練習会場の中を一日中、体育館につめていただいた先生方にも感謝しかありません。普段会うことのできない先生方、役員の皆さんとの出会いの場になったことに感謝しています。至らない点もあったと思いますが、本大会に参加していただいた全ての方の思い出になっていただければ幸いです。

ありがとうございました。

第44回全国中学校バドミントン大会を終えて

競技部長 久保善嗣

西条市が「第44回全国中学校バドミントン大会」を開催するにあたり、隣の新居浜市に住む者として何かの形で支援していこうという思いはありました。愛媛県準備委員会に出席してみると、競技部部長という大役となっており、バドミントン部顧問教員や競技経験者教員が少なくて人が足りないということが否めない中、全国大会の競技の運営となると荷が重い感じをしていました。富士宮市へ視察に行っても、準備委員会を重ねても、式典や会場整備等の準備の進捗状況に比べ、競技の運営面ではほとんど見通しが立たぬまま時が過ぎていきました。失敗が許されないというプレッシャーと、試合当日が勝負という割り切った考えとのせめぎ合いがありました。しかし、プレ大会や四国ブロック大会を経るにつれ、役員の方々の得意分野を生かし記録部と審判部と連携がすすみ、運営がスムーズにいくようになってきました。どこで滞るか、どう改善すればよいかなどを、競技部員の方々が積極的に協議して改善案を出して下さり、自分が特に何をするでもなく部員の皆様のおかげでスムーズな運営と進行ができました。

競技をしていく中で予め起こりえる出来事については備えをしましたが、競技時間が長くなる点については競技の特性上致し方ないものです。しかし、時間には限りがあるために進行を早くしたいという思いと、選手には全国という名の檜舞台で万全の体制で試合に臨み遺憾なく実力を発揮して欲しいという二律背反の思いがありました。そのような中、この大会を無事執り行うことができたのは、多くの役員、そして競技者の方々の協力によるほかはなく、感謝に堪えません。

全中バドミントン大会を終えて

記録・広報部長 外山 英明

一昨年、全中バドミントン大会が西条市で開催されることが決まり、漠然と「たいへんそうだ。」と感じたのを覚えている。昨年、富士宮市の視察をさせていただき、心のこもった運営に感心した。と同時に、焦りの気持ちがわき上がってきた。元々バドミントンが盛んとはいえない地域で、しかも、記録・広報部長という肩書き。さしてパソコン機器の知識や技術に秀でているわけでもなく、むしろあまり分かっていない人間である。また、人にもものを頼むのも苦手で、これからどうしようかが正直なところであった。あれから1年、部員の先生方の卓越した知識と技術に支えられ、何とか大会を終えることができた。大会当日には、ホームページにアクセスできないというハプニングもあった。そのような事態にも、部員の先生方に冷静に対処していただき、本当に感謝している。また、県専門部の方々には、温かくバドミントンの知識を伝授していただいた。

たくさんの先生方に支えられて、大会は成り立っていることを改めて思い知らされた2年間だったと思う。自分の専門とは違う競技の運営に携わったが、この経験を、これからの部活動経営に生かしたいと考える。常に感謝をもって大会に臨む姿勢を生徒に伝えていきたい。

本当にお世話になりました。

全国中学校体育大会を終えて

受付・接待 部長

白石 京子

昨年の夏休みに、富士宮での全国大会を視察させて頂いてから丁度一年。なんだか無事に西条での全国大会を終えることができました。

「受付は、大会の顔、何があっても親切、笑顔を絶やさずに」ということを合い言葉に、部員全員で活動してきました。会場に来られた全ての方に気持ちの良い挨拶をし、選手・監督の皆さんには、試合に集中して頂けるよう気を配り、大会運営がスムーズにできるよう最大限の努力をしました。しかし、予想外の問い合わせや準備の不手際で、十分なことができなかったのではないかと反省しています。バドミントンという競技では、当たり前のことも専門種目ではない我々にとってはわからず、迷惑をかけたことも多かったのではないかと思います。応援に来ておられた保護者の方から「お世話になります」とか「ご苦労さまです」などと温かい言葉を掛けて頂き、胸がいっぱいになりました。

一年前は、「本当にできるのだろうか」「成功するのだろうか」と不安が大きかったのですが、プレ大会、四国大会、そして全国大会と経験を重ねることで部員全員が気持ちをひとつにして取り組むことができるようになり、自信ももてるようになりました。

十分なおもてなしはできなかったかもしれませんが、今大会に携わることができ、大変感謝しています。この経験をこれからの教育活動にも役立てたいと思います。ありがとうございました。

全国中学校バドミントン大会を終えて

審判部長 二宮 安道

まさか自分が、全国大会の審判部長を務めるようになるとは、全く思っていませんでした。専門がバドミントンとはいっても、顧問をしていたのは16年前。現在はソフトテニス部を担当している者が、主となってできるものだろうかと不安に感じていたことを終えた今、思い出しています。

昨年、静岡での全国大会を視察させていただきました。主審の手配や業務内容をまとめた冊子など、運営がスムーズに進むように、とても細かく計画されて取り組まれていることを知りました。そして、自分の仕事の役割の重さを感じる日々が始まりました。その中でも、特に大変だったことが、主審の確保でした。県協会と協力し、審判の資格を持っておられる方に文書を発送したり、電話をしたりなど、開催期間中の必要人数を確保できるまでは、気の抜けない毎日でした。また、開催期間が平日であったことも、直前まで決まらなかった原因であったと思います。また、全国大会に向け、プレ大会や四国大会で運営方法も確認しました。主審の仕事には、審判をするだけではなく、オーダーの確認や選手のコートへの誘導、線審との連携など、いろいろな内容があります。特にプレ大会では、主審の仕事の流れで多くの課題が出ました。プレ大会を開催するだけでも、多くの方の労力がかかりましたが、ただ、このプレ大会がなかったら課題もわからず、運営はうまくいかなかっただろうと思います。

それでも準備不足を感じたまま始まった全国大会でしたが、最終日、全ての試合を無事に終えたとき、安心するとともに、支えていただいた方々への感謝の気持ちでいっぱいでした。いろいろと届かないところがあり、多くのことをご迷惑おかけしたと思います。それをいつも笑顔で助けていただきました。西条市の先生方、主審で協力していただいた方など、携わられた全ての方に感謝しております。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

積み重ねてきた努力

青森市立浪岡中学校 山内 恭弥

僕たち浪岡中学校バドミントン部が全中優勝を本気で目指し始めたのは、二年前の東北大会で負けたときからでした。その場で、目標を「全中優勝」から「全中完封優勝」へと改め、チーム一丸となり、今まで頑張ってきました。

僕たちは、毎日ランニングをしてきました。なぜなら、僕たちが勝つために必要なものは体力であるとかかっていたからです。外の気温が高く倒れそうなどきでも、必死に走ってきました。さらにご飯もたくさん食べ、筋トレをして体力をつけたのです。

全中の前には、高校生や社会人の方が僕たちのスパーリング相手となってくださり、心身ともに鍛えられました。

そして、三年生最後の全中。順調に勝ち上がっていき、いよいよ決勝戦。一対一で僕たちの第二ダブルス。今まで必死に練習してきたことに自信を持ち、全力でプレーしました。ギャラリーでは、浪岡中のメンバーや保護者の方々など、遠い青森からたくさんの方が応援に駆け付けてくださいました。その応援を力に変え、最後は押し切って念願の全中優勝を勝ち取ることができました。この優勝は、メンバーの力だけではなく、今まで僕たちの目標に協力し、支えてくださった皆さんのおかげです。この感謝の気持ちを忘れずに試合をし、優勝できたことを誇りに思います。

今までには辛く、苦しいこともたくさんありました。しかし、「日本一」のチームになることができ、本当に嬉しいです。応援とご支援、ありがとうございました。

みんなで勝ち取ったV4

猪苗代中学校 高橋明日香

私は今回の全中で3回目の出場となりました。私が入学した時は、震災の影響で先輩が3人しかいなかったこともあり団体戦では試合にも出場しました。その年の団体戦ではたった3人の先輩たちでしたが、3人は1つも負けることなく優勝したことが今でも強く印象に残っています。そして昨年度も優勝し猪苗代中学校は3連覇という結果を残してきました。これまでの先輩方が残してくれた連覇に対するプレッシャーとともに、私たちの代でも絶対に優勝して先輩たちに続けたいという思いをみんなで持つことができました。日本一を獲得するためには日本一の努力をしようとして一人一人が一生懸命に練習してきました。その中には辛い時、辛い時、うまくいかない時もたびたびありました。そんな時にはお互い声を掛け合ったりして励まし合いみんなで乗り越えてきました。

そしていよいよ全中が始まりました。団体戦ではチームの合い言葉である「明るく」「楽しく」「全力で」みんな笑顔でプレーすることができました。「絶対に勝つ」という気持ちはどこにも負けなかったと思います。たとえ不利な状況にあっても選手だけでなく、ベンチやスタンドのみんなで応援し乗り越えることができました。この優勝は出場した選手だけでなくチームメイト全員で勝ち取った優勝だと思います。自分たちの代でも優勝し猪苗代・富岡の連覇の伝統を後輩たちに受け継ぐことができました。

日頃から地域をあげて応援してくれた猪苗代町の皆さんや、離れていてもいつも見守ってくれている富岡町の皆さん、そして親元を離れ生活している私たちを力一杯応援してくれた両親に良い報告ができて本当にうれしかったです。

全国大会に出場して

新居浜市立中萩中学校 原田 峻佑

僕は一日目の開会式で選手宣誓をしました。こんな大きな大会での宣誓なので、とても緊張しました。開会式行事が次々と進んで行く中で選手宣誓の順番がやってきました。しかし思った以上にできたので安心しました。

その後、試合会場に着いてすぐに会場練習に入りました。一回戦は、九州地区代表の岡垣中でした。僕は第二ダブルスに出場でした。試合は対一の場面でまわってきました。集中して試合に取り組み、ファイナルで競い勝てたのですごく嬉しかったです。

二日目は東北地区代表の猪苗代中でした。第三シードとの戦いだったので、みんな緊張していましたが、「強気で闘う。」という約束をしていました。結果は0-2で敗戦でしたがみんなが全力でチームのモットーである「しつこく、しぶとく、強気で！」をやり遂げたので悔いはありませんでした。

三日目は個人戦がありました。僕は男子ダブルスに出場しました。初戦は関東地区東京都のダブルスでした。相手は以前対戦したことのあるダブルスだったので、とても緊張しました。しかし、パートナーとは全国ベスト8に入るという目標を決めていたので、絶対負けたくないという気持ちが大きかったです。けれど試合は0-2で負けてしまいました。とても悔しい思いが残りました。その中でも自分の力を全て出し切れたので、その点に関しては良かったです。

最終日は生徒役員して線審をしました。間近で自分達の同世代の試合を観ました。今の自分のレベルでは全く歯が立たないと思いました。

この西条全中でたくさんの貴重な経験ができました。自分の地元でもあり、もう二度とないとてもいい思い出ができました。これからは高校生になるので、またこの経験を必ず生かしていきたいです。

全国大会に出場して

新居浜市立中萩中学校 原田 のどか

今年はここ愛媛県西条市で全国大会が行われました。全国大会が地元で行われるということで、このチャンスを手にするために、一日一日の練習、練習試合、強化練習などを積み重ねてきました。

今回は私にとって中学校生活で最後の全国大会なので「最後、笑顔で終われるような悔いのない試合をしよう。」という気持ちで大会に臨みました。

全国大会初日、団体戦に出場し、ベスト8を目指して頑張りました。第一ダブルスで取り、シングルスで取られ、第二ダブルスも取られ結果は一回戦負けでした。

私は第二ダブルスで試合をしました。しかし、緊張と焦りで連続ミスをしてしまい、自分のベストが出せないまま試合が終わってしまいました。とても悔しい思いがありました。

でも、私は二日後に個人戦ダブルスに出場することになっていたのも、いつまでも落ち込む訳にはいきません。「気持ちを切り替え、チームの皆の分も頑張ろう。」という気持ちで個人戦に臨みました。

勿論目標はベスト8です。初戦は落ち着いて勝ち抜くことができました。二回戦目は一ゲーム目緊張で身体が動かず簡単に取られてしまいました。二ゲーム目になると緊張がほぐれて自分たちから積極的に攻めて行けましたが、所々でミスをしてしまい敗戦となりました。

結果は二回戦負けで、目標のベスト8は達成することができませんでしたが、上位の人たちと試合ができとても勉強になりました。この経験を生かし、これからも頑張っていこうと思います。

そして、この大会を成功するために私たちを支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、新たな目標を持ち、上を目指して日々努力していこうと思います。

全国大会に出場して

新居浜市立川東中学校 星加 湧哉

僕は、中学生最後の夏に念願の全国大会に初めて出場することができました。たくさんの遠征や日々の厳しい練習も、今大会に出場したいという1年生の頃から抱き続けた強い思いがあったから乗り越えることができました。今回の大会では団体戦と個人戦に出場できたため、合わせて3日間もコートに立ち試合をすることができました。夢の舞台で一球一球を楽しみながら自分にできる最大限のプレーをすることができました。全国レベルの試合を目の当たりにし、肌で感じ、その場に自分が立てたことは大きな自信となりました。この夢の舞台に立つことができたのは色々な人の支えがあってこそでした。支えてくれた人に対する感謝の気持ちを忘れることなく、今回得た経験を今後に生かしていきたいと思います。

全国大会に出場して

東温市立重信中学校 渡部 昌太

今年はバドミントンの全国大会が、愛媛県西条市で行われることが決定し、まずはその大会に出場することを目標にし、日頃の練習に集中して取り組み、練習のない日もランニングをするなどの努力を積み重ねてきました。

その結果、県総体、四国総体を勝ち上がり、なんとか全国大会に出場することができました。その大会ではコート全てにグリーンコートが使用されていて、そのようなコートで試合できることをとても嬉しく思いました。一回戦はシードのためなく、二回戦からの出場でした。試合の前日は「勝たなければいけない」というプレッシャーがあり、緊張してしまってよく眠れませんでした。しかし、今まで積み重ねてきたものを全て出し切ろうと心に決めて、試合に臨むことができました。

初戦の相手は自分とほぼ互角の実力でしたが、絶対に自分が勝つという思いで戦い、なんとか勝つことができました。三回戦では、相手の方が自分よりも実力が上だと知っていたから、とにかくできるところまでやろうと思って試合に臨みましたが、結果は負けてしまいました。

目標としていたベスト8には一歩及びみませんでした。今回の大会を十分楽しむことができたし、自分の力も出し切れました。また、団体戦の試合を見て、とても強い選手が個人戦に出られていないのが分かって層の厚さに驚きました。やはり全国で勝ち抜いていくためには自分自身の努力がもっと必要なのだと感じました。今回の大会を通し、努力することの大切さを感じました。これからは、今まで以上の努力を継続して行い、全国で勝ち抜いていける選手になれるよう頑張りたいと思います。

全国大会を終えて

松山市立雄新中学校 吉本 光太郎

今回の全国大会は霊峰石鎚山の下、ここ愛媛県西条市で行われました。

中学生になって初めての全国総体で、とても緊張しました。僕の学校にはバドミントン部はありませんが、それでも個人で集まって練習をしたり、指導を受けたりして、やっと全国大会出場というチャンスを得ることが出来ました。

開会式では、素晴らしい歌声と演奏で大会に臨む心構えが出来たと思います。そしてとうとう自分が試合をすることになりました。

2回戦は、空調設備で少し風の感覚がつかめず、シャトルが思うようにコントロールできなくて、苦戦しましたが、ストレートで勝つことが出来ました。

3回戦は、前半の立ち上がりが悪くて、1ゲーム目を落としてしまいました。しかし、2ゲーム目を取り返して3ゲーム目に入ることが出来ました。3ゲーム目の前半は11対7で先に取りられてしまいました。しかし、愛媛県の皆が応援してくださったおかげもあり、21対19で勝利することができました。準々決勝は自分より格上の相手でしたが、自分の力を精一杯出すことが出来ました。結果はストレート負けでしたが、自分としてはとても満足のいく結果でした。

初めての全国総体はベスト8という結果でした。この結果を手にすることが出来たのは、日頃自分を支えてくれている監督や親、競い合ってきた仲間のおかげだと思っています。そのことに感謝し、これからも自分が出来ることを全力で成し遂げていきたいと思っています。

全国大会に出場して

松山市立雄新中学校 東 亮太

今年は、地元である愛媛県西条市にて、全国大会が行われました。僕は、地元開催ということで、出場枠を得て、出場することができました。

僕はこのチャンスを生かすために、早朝練習をしたり、空いている時間に体育館に行って練習したりしました。学校にはバドミントン部がないので、僕は市総合体育大会が終わるまでは陸上競技部に所属し、根気よくプレーするための体力作りをしていました。顧問の先生も部員の仲間も、僕の試合を応援してくれました。普段は国体強化練習会やクラブチームで練習していました。そこで指導者のイズアンさんにもアドバイスしてもらいました。また、いつも送り迎えをしてくれた両親の支えや、いろいろな手続きをしてくださった先生方のおかげで、今回このような夢の舞台に立つことができた、本当に感謝しています。

いろんな活動を通して、自分の技能面が向上してきたと思います。そして、あっという間に全国大会の当日になりました。

目標は初戦を勝つことでした。相手は身長が高く、手強い相手でした。ラリーが一球一球長く、相手に点を取られた時は心が折れそうでした。しかし、僕が最後まで諦めることなく戦えたのは、愛媛県みんなが応援してくれていたからでした。

しかし全国大会の壁は厚く、惜しくも1回戦で負けてしまいました。試合には負けてしまったけれど、このような経験ができたことが、何よりも宝物だと思います。今回の経験を通して、また新たな目標ができました。それは高校総体でリベンジすることです。今回の悔しさをバネに、高校では全国大会ベスト8を目指し、これからも努力を重ねていきたいと思っています。

全国大会に出場して

西条北中学校 清家 菜々子

今年の全国大会は、愛媛県西条市で行われました。中学校生活最後の年に全国大会が地元で行われることになり、思い出に残る大会となりました。

全国大会の開会式、私は地元開催ということで選手宣誓の大役を任されました。こんな大舞台で選手宣誓ができるチャンスはもう二度とないと思い、家で学校でとたくさん練習しました。とても緊張し、足も震えましたが、無事に終えることができました。

大会には、妹とダブルスで出場しました。妹とペアを組むことは、予想していた以上に簡単なものではありませんでした。お互いを分かり合えるところは良いのですが、姉妹だからと我慢することなく、感情をぶつけ合ってしまうため、喧嘩ばかりになってしまっていました。しかし、全国大会では、お互いの気持ちがひとつになり、今までで一番良いプレーが出来たと思います。結果は、ファイナルゲームまでもつれたものの、惜しくも負けてしまいました。勝ちたかったけれど、この結果が今の私の実力。全国大会のすごさを改めて感じることができました。そして、また新たな目標もできました。今まで私を支えてくれた家族をはじめ、指導して下さった先生方、応援して下さった方々への感謝の気持ちを忘れず、この悔しさをバネにして、これからの練習をさらに頑張っていこうと思います。

全国大会に出場して

西予市立宇和中学校 二宮 安優花

今年の総体は、私にとって特別なものになりました。それは、中学校最後の年に、地元で行われた全国大会に、1年生の妹とダブルスの個人戦に出場することができたからです。妹が入学してからは、県総体で2位以内に入賞し、全国大会に出場することを目標に、練習に励みました。なかなかお互いのコンビネーションがうまく合わず、ときにはけんかもしたりしましたが、できることは全てやった満足感をもって、試合に臨みました。残念ながら決勝では負けてしまいましたが、開催地代表として出場できることが決まったときは、妹とともに喜びました。そして、全国大会では、中学校での集大成となるように、さらに毎日の練習にベストを尽くしました。

全国大会個人戦は、大会3日目に行われました。初戦は、全国大会の常連校である兵庫県の園田学園中学校でした。気持ちで負けないように、試合に臨みました。1ゲーム目は、お互いに緊張してしまい、うまくかみ合わないまま取られてしまいました。続く2ゲーム目で、ようやく練習をしているようなプレーができだし、ゲームを取ることができました。そして、ファイナルゲームでは、出だしに気をつけていきかけたのですが、追いつくことができず負けてしまいました。結果は初戦敗退と悔しさの残るものとなってしまいましたが、強豪校から1ゲームを取れたことは、今後の大きな自信となりました。また、スポーツをする上で大切なことを大会に参加して、教えてもらったように思います。

最後に、この大会に出るために、私たちを支えて下さった方々に感謝し、さらに向上心をもって高校でも努力していこうと思います。

全国大会を終えて

松山市立東中学校 横山 滯

今年は全国大会が、地元の西条市で行われました。自分にとって中学校生活最後の年で地元開催だったので、去年からずっとこの日のために励んできました。ただ自分の中では全中に出場するのが初めてで、どんなものかもわからずに緊張感でいっぱいでした。

大会3日目に、私は個人戦のシングルスに出場しました。初戦からすごく強い相手で、少しでもいい試合をすることで、今まで支えてくださった方々に恩返しをしようと頑張りました。1ゲーム目は、会場の雰囲気飲まれて足がまったく動きませんでした。2ゲーム目は「このままじゃだめだ。」と思い、17オールまではいきましたが、そこから自分のミスを連続で続けてしまい負けてしまいました。

結果は1回戦負けで、与えられたチャンスを逃してしまい悔いは残りましたが、上位クラスの人と試合ができて、もっともっと頑張らなければならないなと思いました。この貴重な体験を次に生かし、もっと高いレベルを目指したいと思います。

この大会のために、自分を応援してくれたコーチや先生方、いつも送り迎えなど支えてくれた両親、たくさん応援をし合って、一緒に練習を競い合った愛媛のみんなへの感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張つて素敵な成果を上げられるように続けていきたいです。

表紙作成をして

西条市立河北中学校 杉 眞秀

校長先生に「表紙の絵を描いてみないか。」と勧めていただいたとき、私は「ぜひ描かせてください」と即答しました。練習の成果を発揮して真剣に戦う選手の皆さんの姿をぜひ描きたいと思ったし、全国大会の表紙を描かせてもらえるようなチャンスはめったにないとも思ったからです。

今回、表紙には「泣いている選手」を描きました。全国大会には、選手の皆さん一人一人が、それぞれの思いを抱いて臨んでいます。そしてその結果、うれし涙を流す人もいれば、悔し涙を流す人もいます。そういう選手の皆さんの思いを想像しながら、この絵を描きました。

私は美術部に所属していましたが、スポーツに関する絵は描いたことがありませんでした。また、「バドミントン」についての知識は全くといっていいほどありませんでした。そこで、インターネットで「バドミントン」の画像を調べたり、本を見たりしながら、描きました。右足と左足が分からず、悩んだことがありましたが、完成することができて良かったです。表紙を描いてから、「バドミントン」に親しみがわき、試合の結果も気になり、新聞を読みました。

中学校生活最後に全国大会に関わることができたことをうれしく思っています。このような機会を与えていただき、本当に感謝しています。